

吉岡町の財政状況

平成28年度決算

平成29年3月31日現在

人口：21,064人

男：10,329人

女：10,735人

世帯：7,720世帯

面積：20.46 km²

平成29年12月

【目 次】

1. 一般会計決算	1
(1) 歳入	1
ア 款別	1
イ 目的別	2
ウ 一般財源・特定財源	3
エ 自主財源・依存財源	4
(2) 歳出	5
ア 款別	5
イ 性質別	6
(3) 町税	7
ア 決算額	7
イ 町民1人あたり決算額	8
ウ 1世帯あたり決算額	8
2. 会計別決算	9
3. 財産の状況	11
(1) 年度末現在高	11
(2) 年度末現在高（町民1人あたり）	11
(3) 年度末現在高（1世帯あたり）	11
(4) 基金残高	12
(5) 基金残高（町民1人あたり）	12
(6) 基金残高（1世帯あたり）	13
(7) 基金残高の推移	14
5. 町債の状況	16
(1) 一般会計	16
(2) 会計別	19
(3) 会計別（町民1人あたり）	20
(4) 会計別（1世帯あたり）	21
(5) 年度末町債残高の推移	22
6. 主要事業一覧表	24
7. 吉岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成28年度主要事業一覧表（再掲）	67

1. 一般会計決算

(1) 歳入 ア 款別

(単位：円、%)

区 分	平成28年度		平成27年度		比 較	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	増 減 額	増減率
1. 町税	2,451,541,506	33.8	2,408,021,399	35.6	43,520,107	1.8
2. 地方譲与税	86,746,000	1.2	87,866,000	1.3	△1,120,000	△1.3
3. 利子割交付金	2,403,000	0.0	3,882,000	0.1	△1,479,000	△38.1
4. 配当割交付金	7,705,000	0.1	12,276,000	0.2	△4,571,000	△37.2
5. 株式等譲渡所得割交付金	4,514,000	0.1	12,450,000	0.2	△7,936,000	△63.7
6. 地方消費税交付金	320,213,000	4.4	343,774,000	5.1	△23,561,000	△6.9
7. ゴルフ場利用税交付金	1,290,282	0.0	1,354,005	0.0	△63,723	△4.7
8. 自動車取得税交付金	19,847,000	0.3	18,780,000	0.3	1,067,000	5.7
9. 地方特例交付金	23,920,000	0.3	21,881,000	0.3	2,039,000	9.3
10. 地方交付税	1,192,271,000	16.5	1,233,074,000	18.2	△40,803,000	△3.3
うち普通交付税	1,059,859,000	14.6	1,076,386,000	15.9	△16,527,000	△1.5
11. 交通安全対策特別交付金	3,862,000	0.1	4,171,000	0.1	△309,000	△7.4
12. 分担金及び負担金	157,944,670	2.2	155,067,150	2.3	2,877,520	1.9
13. 使用料及び手数料	35,834,154	0.5	35,593,328	0.6	240,826	0.7
14. 国庫支出金	1,271,736,928	17.5	957,635,044	14.0	314,101,884	32.8
15. 県支出金	633,510,824	8.7	804,609,877	11.9	△171,099,053	△21.3
16. 財産収入	6,252,874	0.1	7,960,894	0.1	△1,708,020	△21.5
17. 寄附金	40,795,000	0.6	3,064,000	0.0	37,731,000	1,231.4
18. 繰入金	399,653,237	5.5	13,142,871	0.2	386,510,366	2,940.8
うち財政調整基金	380,000,000	5.2	0	0.0	380,000,000	皆増
19. 繰越金	32,902,595	0.5	117,275,404	1.7	△84,372,809	△71.9
20. 諸収入	135,625,819	1.8	75,335,030	1.1	60,290,789	80.0
21. 町債	418,800,000	5.8	453,300,000	6.7	△34,500,000	△7.6
うち臨時財政対策債	267,000,000	3.7	317,900,000	4.7	△50,900,000	△16.0
歳 入 合 計	7,247,368,889	100.0	6,770,513,002	100.0	476,855,887	7.0

イ 目的別

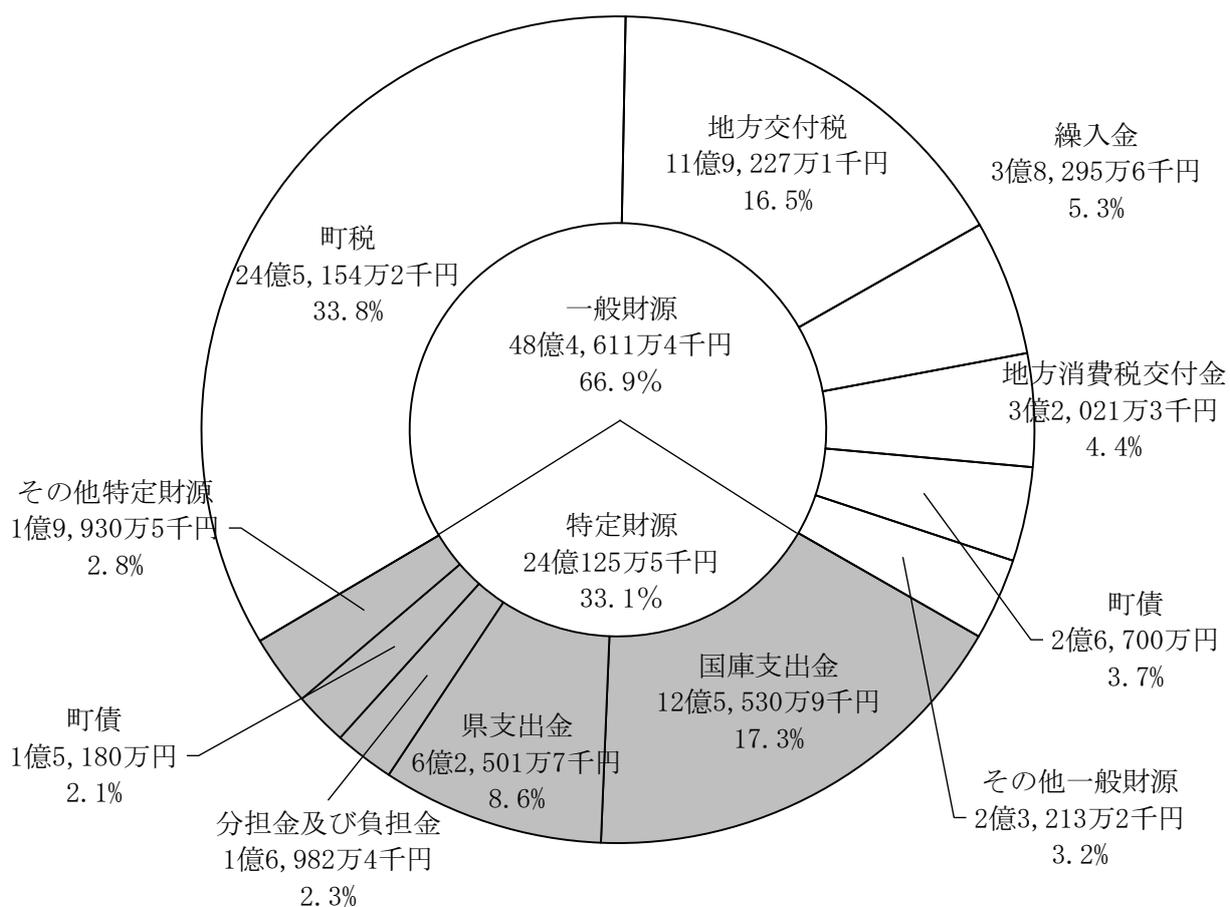
(単位：千円、%)

区 分	平成28年度		平成27年度		比 較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
町税	2,451,542	33.8	2,408,021	35.6	43,521	1.8
地方譲与税	86,746	1.2	87,866	1.3	△1,120	△1.3
利子割交付金	2,403	0.0	3,882	0.1	△1,479	△38.1
配当割交付金	7,705	0.1	12,276	0.2	△4,571	△37.2
株式等譲渡所得割交付金	4,514	0.1	12,450	0.2	△7,936	△63.7
地方消費税交付金	320,213	4.4	343,774	5.1	△23,561	△6.9
ゴルフ場利用税交付金	1,290	0.0	1,354	0.0	△64	△4.7
自動車取得税交付金	19,847	0.3	18,780	0.3	1,067	5.7
地方特例交付金	23,920	0.3	21,881	0.3	2,039	9.3
地方交付税	1,192,271	16.5	1,233,074	18.2	△40,803	△3.3
交通安全対策特別交付金	3,862	0.1	4,171	0.1	△309	△7.4
分担金及び負担金	169,824	2.3	174,829	2.6	△5,005	△2.9
使用料	24,657	0.3	24,429	0.4	228	0.9
手数料	11,177	0.2	11,165	0.2	12	0.1
国庫支出金	1,271,737	17.5	957,635	14.0	314,102	32.8
県支出金	633,511	8.7	803,467	11.9	△169,956	△21.2
財産収入	6,254	0.1	7,961	0.1	△1,707	△21.4
寄附金	40,795	0.6	3,064	0.0	37,731	1,231.4
繰入金	399,653	5.5	13,143	0.2	386,510	2,940.8
繰越金	32,903	0.5	118,418	1.7	△85,515	△72.2
諸収入	123,745	1.7	55,573	0.8	68,172	122.7
町債	418,800	5.8	453,300	6.7	△34,500	△7.6
歳入合計	7,247,369	100.0	6,770,513	100.0	476,856	7.0

ウ 一般財源・特定財源

(単位：千円、%)

区 分	平成28年度		平成27年度		比 較	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	増 減 額	増減率
一 般 財 源	4,846,114	66.9	4,612,640	68.1	233,474	5.1
特 定 財 源	2,401,255	33.1	2,157,873	31.9	243,382	11.3
歳 入 合 計	7,247,369	100.0	6,770,513	100.0	476,856	7.0



- 一般財源…町税、地方交付税などの使途が特定されていない財源

【その他一般財源の内訳】

地方譲与税 (8,674万6千円、1.2%)、地方特例交付金 (2,392万円、0.3%)、寄附金 (2,179万5千円、0.3%)、自動車取得税交付金 (1,984万7千円、0.3%)、繰越金 (1,870万3千円、0.3%)、国庫支出金 (1,642万8千円、0.2%) など

- 特定財源…国庫支出金、分担金及び負担金などの使途が特定されている財源

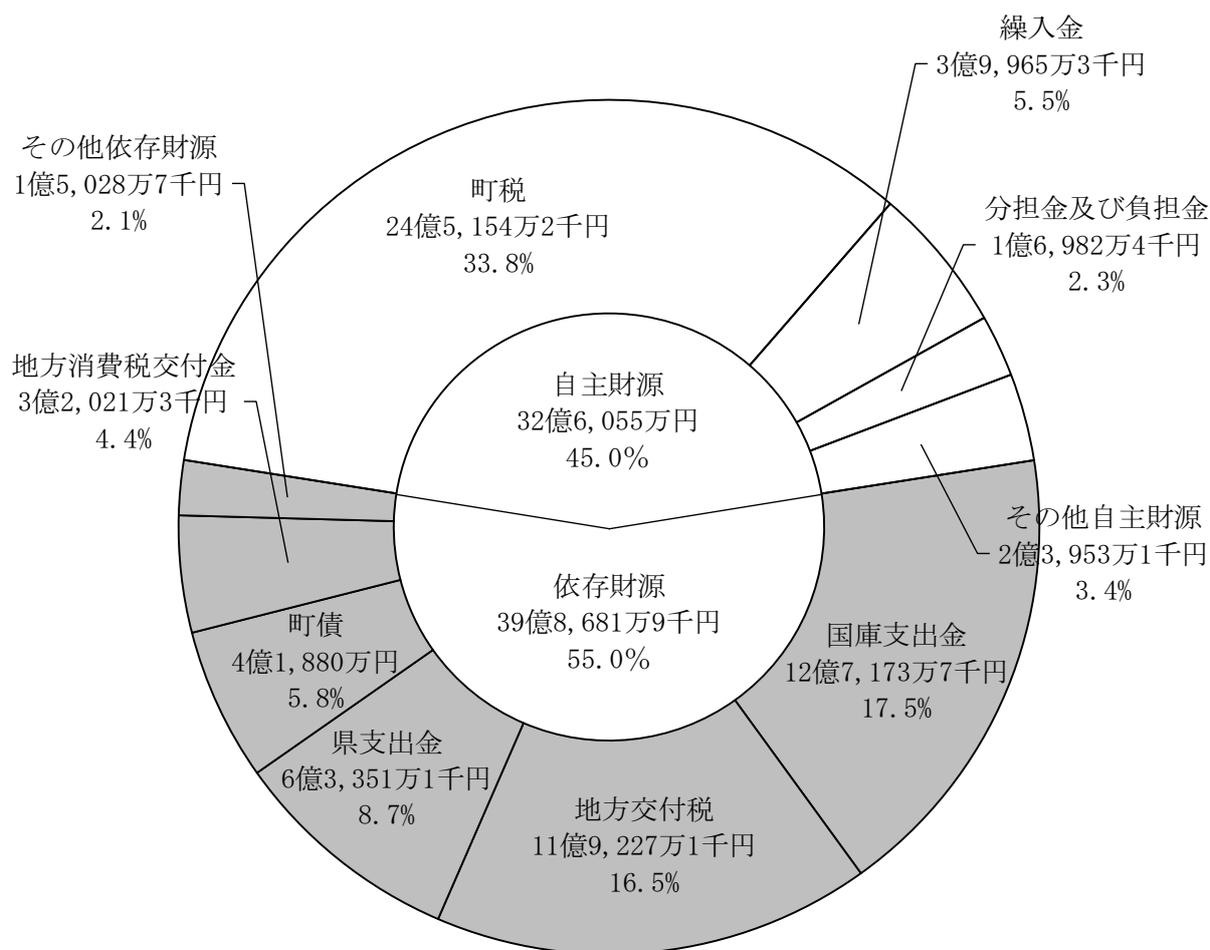
【その他特定財源の内訳】

諸収入 (1億1,160万4千円、1.5%)、使用料 (2,235万7千円、0.3%)、寄附金 (1,900万円、0.3%)、繰入金 (1,669万7千円、0.2%)、繰越金 (1,420万円、0.2%)、手数料 (1,117万7千円、0.2%)、財産収入 (427万円、0.1%)

エ 自主財源・依存財源

(単位：千円、%)

区 分	平成28年度		平成27年度		比 較	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	増 減 額	増減率
自 主 財 源	3,260,550	45.0	2,816,603	41.6	443,947	15.8
依 存 財 源	3,986,819	55.0	3,953,910	58.4	32,909	0.8
歳 入 合 計	7,247,369	100.0	6,770,513	100.0	476,856	7.0



- 自主財源…町税、繰入金、分担金及び負担金など

【その他自主財源の内訳】

諸収入 (1億2,374万5千円、1.7%)、寄附金 (4,079万5千円、0.6%)、繰越金 (3,290万3千円、0.5%)、使用料 (2,465万7千円、0.3%)、手数料 (1,117万7千円、0.2%)、財産収入 (625万4千円、0.1%)

- 依存財源…地方交付税、国庫支出金、地方譲与税、町債、各種交付金など

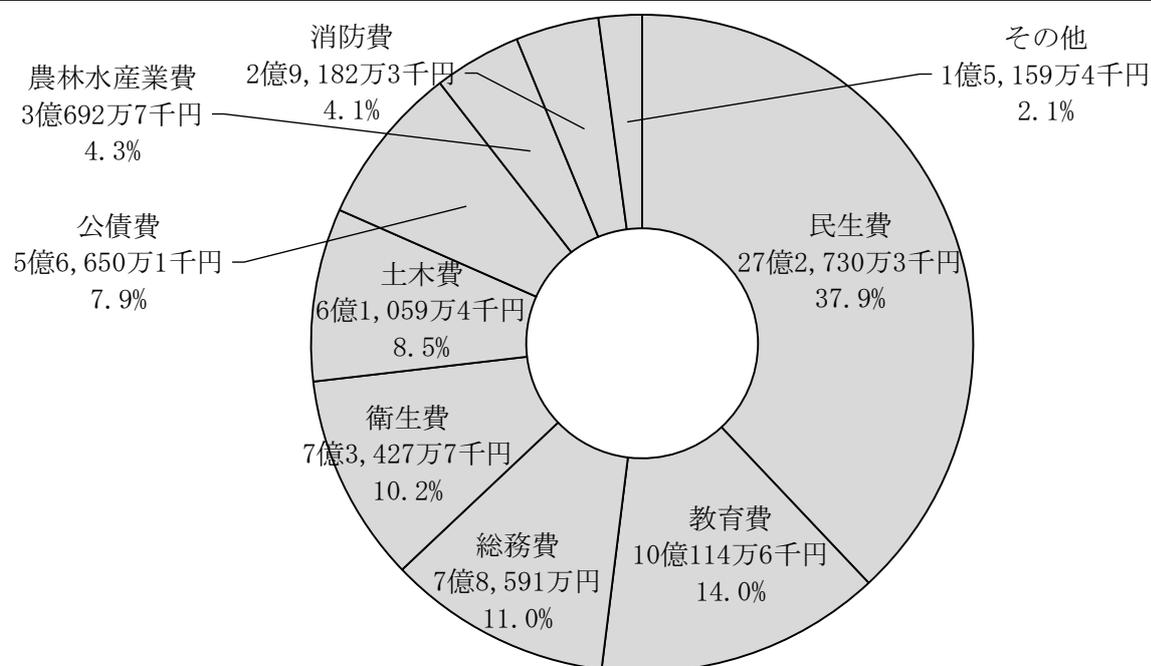
【その他依存財源の内訳】

地方譲与税 (8,674万6千円、1.2%)、地方特例交付金 (2,392万円、0.3%)、自動車取得税交付金 (1,984万7千円、0.3%)、配当割交付金 (770万5千円、0.1%)、株式等譲渡所得割交付金 (451万4千円、0.1%) など

(2) 歳出
ア 款別

(単位：円、%)

区 分	平成28年度		平成27年度		比 較	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	増 減 額	増減率
1. 議会費	101,614,637	1.4	102,640,859	1.5	△1,026,222	△1.0
2. 総務費	785,909,544	11.0	809,535,492	12.0	△23,625,948	△2.9
3. 民生費	2,727,303,321	37.9	2,415,570,660	35.9	311,732,661	12.9
4. 衛生費	610,594,229	8.5	615,584,949	9.1	△4,990,720	△0.8
5. 労働費	16,679,021	0.2	17,354,763	0.3	△675,742	△3.9
6. 農林水産業費	291,823,030	4.1	429,742,039	6.4	△137,919,009	△32.1
7. 商工費	33,271,931	0.5	52,288,114	0.8	△19,016,183	△36.4
8. 土木費	734,276,814	10.2	572,916,083	8.5	161,360,731	28.2
9. 消防費	306,927,447	4.3	290,929,693	4.3	15,997,754	5.5
10. 教育費	1,001,145,602	14.0	876,197,500	13.0	124,948,102	14.3
11. 災害復旧費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
12. 公債費	566,501,415	7.9	554,814,255	8.2	11,687,160	2.1
13. 諸支出金	28,000	0.0	36,000	0.0	△8,000	△22.2
14. 予備費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
歳 出 合 計	7,176,074,991	100.0	6,737,610,407	100.0	438,464,584	6.5



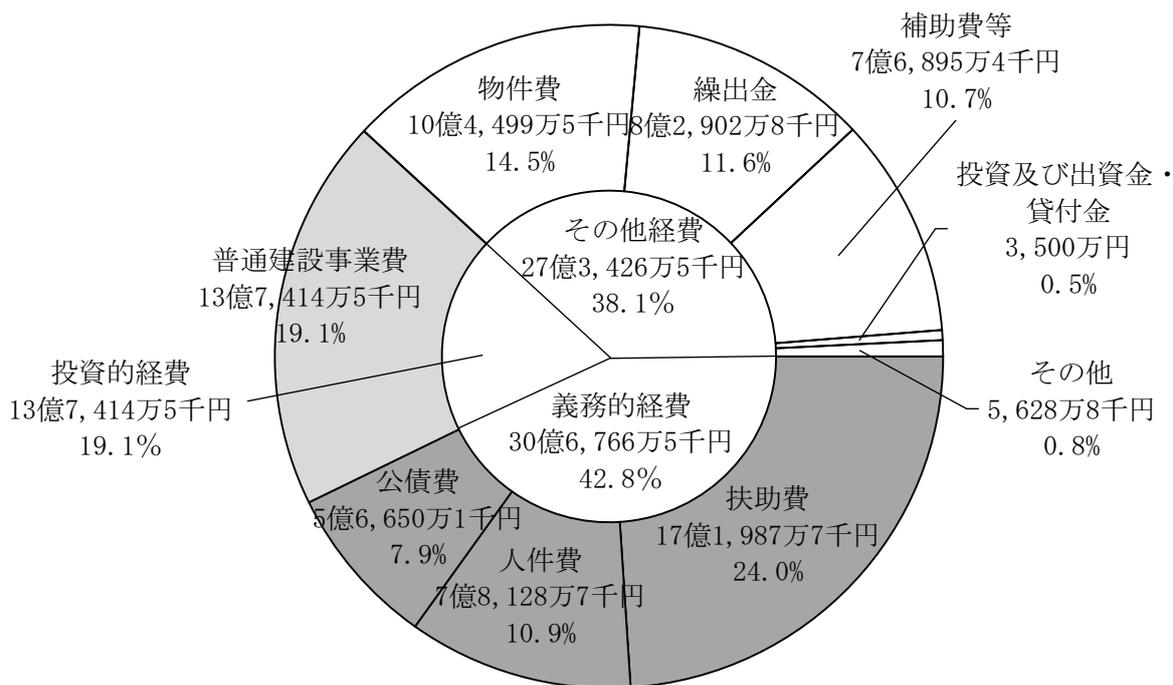
【その他の内訳】

議会費 (1億161万5千円、1.4%)、商工費 (3,327万2千円、0.5%)、労働費 (1,667万9千円、0.2%)、諸支出金 (2万8千円、0.0%)

イ 性質別

(単位：千円、%)

区 分	平成28年度		平成27年度		比 較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
義務的経費	3,067,665	42.8	2,982,498	44.3	85,167	2.9
人件費	781,287	10.9	789,529	11.7	△8,242	△1.0
扶助費	1,719,877	24.0	1,638,155	24.3	81,722	5.0
公債費	566,501	7.9	554,814	8.2	11,687	2.1
投資的経費	1,374,145	19.1	1,061,121	15.7	313,024	29.5
普通建設事業費	1,374,145	19.1	1,061,121	15.7	313,024	29.5
災害復旧事業費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他経費	2,734,265	38.1	2,693,991	40.0	40,274	1.5
物件費	1,044,995	14.5	1,012,564	15.1	32,431	3.2
維持補修費	25,777	0.4	28,838	0.4	△3,061	△10.6
補助費等	768,954	10.7	717,568	10.7	51,386	7.2
積立金	30,511	0.4	34,891	0.5	△4,380	△12.6
投資及び出資金・貸付金	35,000	0.5	35,000	0.5	0	0.0
繰出金	829,028	11.6	865,130	12.9	△36,102	△4.2
予備費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
歳 出 合 計	7,176,075	100.0	6,737,610	100.0	438,465	6.5



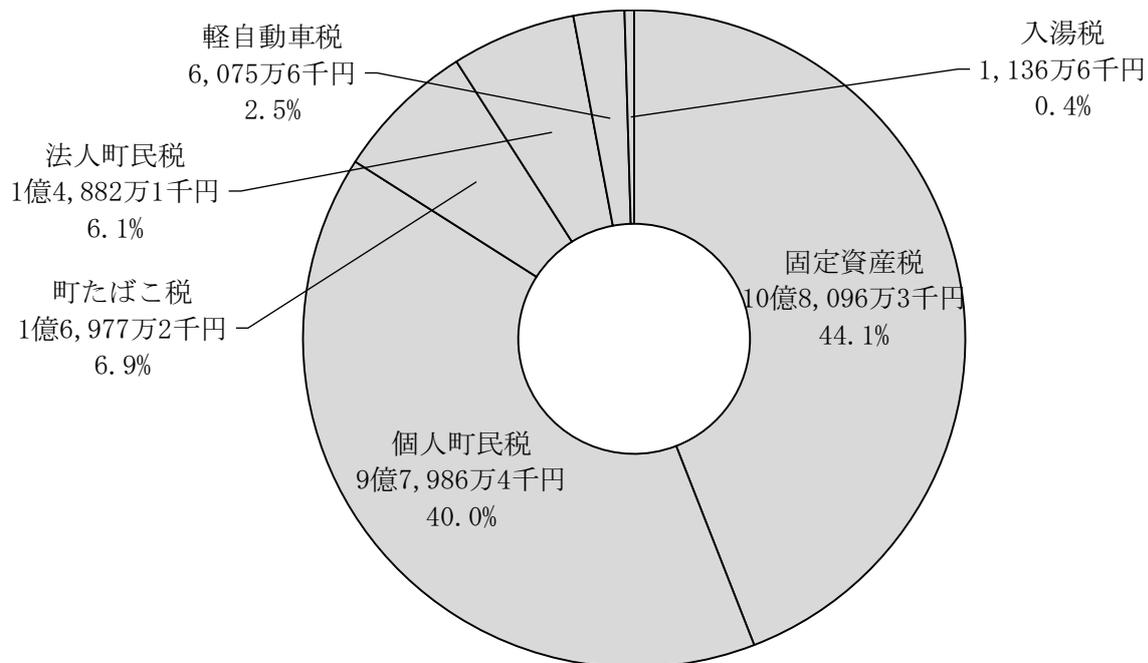
【その他の内訳】

積立金 (3,051万1千円、0.4%)、維持補修費 (2,577万7千円、0.4%)

(3) 町税
ア 決算額

(単位：円、%)

区 分	平成28年度		平成27年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
個人町民税	979,863,517	40.0	965,407,350	40.1	14,456,167	1.5
法人町民税	148,821,277	6.1	148,247,700	6.2	573,577	0.4
固定資産税	1,080,962,943	44.1	1,056,083,683	43.9	24,879,260	2.4
軽自動車税	60,755,824	2.5	53,202,123	2.2	7,553,701	14.2
町たばこ税	169,771,845	6.9	173,164,873	7.2	△3,393,028	△2.0
入湯税	11,366,100	0.4	11,915,670	0.4	△549,570	△4.6
計	2,451,541,506	100.0	2,408,021,399	100.0	43,520,107	1.8



イ 町民1人あたり決算額

平成28年度・平成27年度の決算額を、それぞれ平成29年3月31日現在・平成28年3月31日現在の人口で割ったものです。

(単位：円、%)

区 分	平成28年度		平成27年度		比 較	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	増 減 額	増減率
個人町民税	46,518	40.0	46,358	40.1	160	0.3
法人町民税	7,065	6.1	7,119	6.2	△54	△0.8
固定資産税	51,318	44.1	50,712	43.9	606	1.2
軽自動車税	2,884	2.5	2,555	2.2	329	12.9
町たばこ税	8,060	6.9	8,315	7.2	△255	△3.1
入湯税	540	0.4	572	0.4	△32	△5.6
計	116,385	100.0	115,631	100.0	754	0.7

※ 項目ごとに端数処理をしているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

ウ 1世帯あたり決算額

平成28年度・平成27年度の決算額を、それぞれ平成29年3月31日現在・平成28年3月31日現在の世帯数で割ったものです。

(単位：円、%)

区 分	平成28年度		平成27年度		比 較	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	増 減 額	増減率
個人町民税	126,925	40.0	128,515	40.1	△1,590	△1.2
法人町民税	19,277	6.1	19,735	6.2	△458	△2.3
固定資産税	140,021	44.1	140,586	43.9	△565	△0.4
軽自動車税	7,870	2.5	7,082	2.2	788	11.1
町たばこ税	21,991	6.9	23,052	7.2	△1,061	△4.6
入湯税	1,472	0.4	1,586	0.4	△114	△7.2
計	317,557	100.0	320,557	100.0	△3,000	△0.9

※ 項目ごとに端数処理をしているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

2. 会計別決算

(単位：円、%)

区 分		平成28年度 決 算 額	平成27年度 決 算 額	比 較		
				増 減 額	増減率	
一 般 会 計	歳入	7,247,368,889	6,770,513,002	476,855,887	7.0	
	歳出	7,176,074,991	6,737,610,407	438,464,584	6.5	
	差引	71,293,898	32,902,595	38,391,303	116.7	
	翌年繰越額	54,932,000	18,116,000	36,816,000	203.2	
	実質収支	16,361,898	14,786,595	1,575,303	10.7	
特 別 会 計	学校給食事業	歳入	113,981,202	112,715,324	1,265,878	1.1
		歳出	113,711,805	112,201,822	1,509,983	1.3
		差引	269,397	513,502	△244,105	△47.5
		翌年繰越額	0	0	0	0.0
		実質収支	269,397	513,502	△244,105	△47.5
	公共下水道事業	歳入	345,308,489	320,341,549	24,966,940	7.8
		歳出	345,008,489	320,041,549	24,966,940	7.8
		差引	300,000	300,000	0	0.0
		翌年繰越額	0	0	0	0.0
		実質収支	300,000	300,000	0	0.0
	国民健康保険 事業	歳入	2,298,106,997	2,394,710,203	△96,603,206	△4.0
		歳出	2,282,695,810	2,331,625,457	△48,929,647	△2.1
		差引	15,411,187	63,084,746	△47,673,559	△75.6
		翌年繰越額	0	0	0	0.0
		実質収支	15,411,187	63,084,746	△47,673,559	△75.6
	農業集落排水 事業	歳入	151,956,585	155,953,888	△3,997,303	△2.6
		歳出	151,856,585	155,853,888	△3,997,303	△2.6
		差引	100,000	100,000	0	0.0
		翌年繰越額	0	0	0	0.0
		実質収支	100,000	100,000	0	0.0

(単位：円、%)

区 分		平成28年度 決 算 額	平成27年度 決 算 額	比 較		
				増 減 額	増減率	
特 別 会 計	住宅新築資金等 貸付事業	歳入	3,615,498	3,966,338	△350,840	△8.8
		歳出	3,615,498	3,966,338	△350,840	△8.8
		差引	0	0	0	0.0
		翌年繰越額	0	0	0	0.0
		実質収支	0	0	0	0.0
	介護保険事業	歳入	1,352,560,558	1,305,947,116	46,613,442	3.6
		歳出	1,326,752,788	1,279,166,706	47,586,082	3.7
		差引	25,807,770	26,780,410	△972,640	△3.6
		翌年繰越額	0	0	0	0.0
		実質収支	25,807,770	26,780,410	△972,640	△3.6
	後期高齢者医療 事業	歳入	166,778,001	160,951,219	5,826,782	3.6
		歳出	163,513,001	157,790,519	5,722,482	3.6
		差引	3,265,000	3,160,700	104,300	3.3
		翌年繰越額	0	0	0	0.0
		実質収支	3,265,000	3,160,700	104,300	3.3
	計	歳入	4,432,307,330	4,454,585,637	△22,278,307	△0.5
		歳出	4,387,153,976	4,360,646,279	26,507,697	0.6
		差引	45,153,354	93,939,358	△48,786,004	△51.9
		翌年繰越額	0	0	0	0.0
		実質収支	45,153,354	93,939,358	△48,786,004	△51.9
合 計	歳入	11,679,676,219	11,225,098,639	454,577,580	4.0	
	歳出	11,563,228,967	11,098,256,686	464,972,281	4.2	
	差引	116,447,252	126,841,953	△10,394,701	△8.2	
	翌年繰越額	54,932,000	18,116,000	36,816,000	203.2	
	実質収支	61,515,252	108,725,953	△47,210,701	△43.4	

3. 財産の状況

(1) 年度末現在高

区 分	平成28年度末 現 在 高	平成27年度末 現 在 高	比 較	
			増 減 高	増減率 (%)
土地 (㎡)	1,996,341	1,985,100	11,241	0.6
建物 (㎡)	50,011	48,845	1,166	2.4
基金 (円)	3,455,826,000	3,812,691,000	△356,865,000	△9.4
出資金 (円)	140,929,316	140,929,316	0	0.0
自動車 (台)	45	45	0	0.0
消防自動車 (台)	6	6	0	0.0

(2) 年度末現在高 (町民1人あたり)

平成28年度末・平成27年度末の現在高を、それぞれ平成29年3月31日現在・平成28年3月31日現在の人口で割ったものです。

区 分	平成28年度末 現 在 高	平成27年度末 現 在 高	比 較	
			増 減 高	増減率 (%)
土地 (㎡)	94.78	95.32	△0.54	△0.6
建物 (㎡)	2.37	2.35	0.02	0.9
基金 (円)	164,063	183,082	△19,019	△10.4
出資金 (円)	6,691	6,767	△76	△1.1

※ 項目ごとに端数処理をしているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

(3) 年度末現在高 (1世帯あたり)

平成28年度末・平成27年度末の現在高を、それぞれ平成29年3月31日現在・平成28年3月31日現在の世帯数で割ったものです。

区 分	平成28年度末 現 在 高	平成27年度末 現 在 高	比 較	
			増 減 高	増減率 (%)
土地 (㎡)	258.59	264.26	△5.67	△2.1
建物 (㎡)	6.48	6.50	△0.02	△0.3
基金 (円)	447,646	507,547	△59,901	△11.8
出資金 (円)	18,255	18,761	△506	△2.7

※ 項目ごとに端数処理をしているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

(4) 基金残高

(単位：円)

区 分	平成27年度末 現 在 高	平成28年度中増減額		平成28年度末 現 在 高
		平成28年度中 積 立 額	平成28年度中 取 崩 額	
財政調整基金	2,991,739,000	10,359,000	380,000,000	2,622,098,000
減債基金	443,467,000	793,000	0	444,260,000
土地開発基金	18,730,000	28,000	0	18,758,000
湧水対策施設維持管理基金	136,484,000	203,000	15,697,000	120,990,000
教育文化振興基金	53,691,000	18,078,000	1,000,000	70,769,000
地域福祉基金	51,390,000	1,078,000	0	52,468,000
収入印紙等購買基金	1,500,000	0	0	1,500,000
国民健康保険基金	106,117,000	0	0	106,117,000
介護給付費準備基金	9,573,000	9,293,000	0	18,866,000
計	3,812,691,000	39,832,000	396,697,000	3,455,826,000

(5) 基金残高（町民1人あたり）

平成27年度末現在高は、平成27年度末の現在高を平成28年3月31日現在の人口で割ったものです。

平成28年度中増減額、平成28年度末現在高は、平成28年度中の増減額、平成28年度末の現在高を、それぞれ平成29年3月31日現在の人口で割ったものです。

(単位：円)

区 分	平成27年度末 現 在 高	平成28年度中増減額		平成28年度末 現 在 高
		平成28年度中 積 立 額	平成28年度中 取 崩 額	
財政調整基金	143,661	492	18,040	124,482
減債基金	21,295	38	0	21,091
土地開発基金	899	1	0	891
湧水対策施設維持管理基金	6,554	10	745	5,744
教育文化振興基金	2,578	858	47	3,360
地域福祉基金	2,468	51	0	2,491
収入印紙等購買基金	72	0	0	71
国民健康保険基金	5,096	0	0	5,038
介護給付費準備基金	460	441	0	896
計	183,082	1,891	18,833	164,063

※ 項目ごとに端数処理をしているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

(6) 基金残高（1世帯あたり）

平成27年度末現在高は、平成27年度末現在の基金残高を平成28年3月31日現在の世帯数で割ったものです。

平成28年度中増減額・平成28年度末現在高は、平成28年度中の増減額・平成28年度末現在の基金残高を、それぞれ平成29年3月31日現在の世帯数で割ったものです。

（単位：円）

区 分	平成27年度末 現 在 高	平成28年度中増減額		平成28年度末 現 在 高
		平成28年度中 積 立 額	平成28年度中 取 崩 額	
財政調整基金	398,261	1,342	49,223	339,650
減債基金	59,034	103	0	57,547
土地開発基金	2,493	4	0	2,430
湧水対策施設維持管理基金	18,169	26	2,033	15,672
教育文化振興基金	7,147	2,342	130	9,167
地域福祉基金	6,841	140	0	6,796
収入印紙等購買基金	200	0	0	194
国民健康保険基金	14,126	0	0	13,746
介護給付費準備基金	1,274	1,204	0	2,444
計	507,547	5,160	51,386	447,646

※ 項目ごとに端数処理をしているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

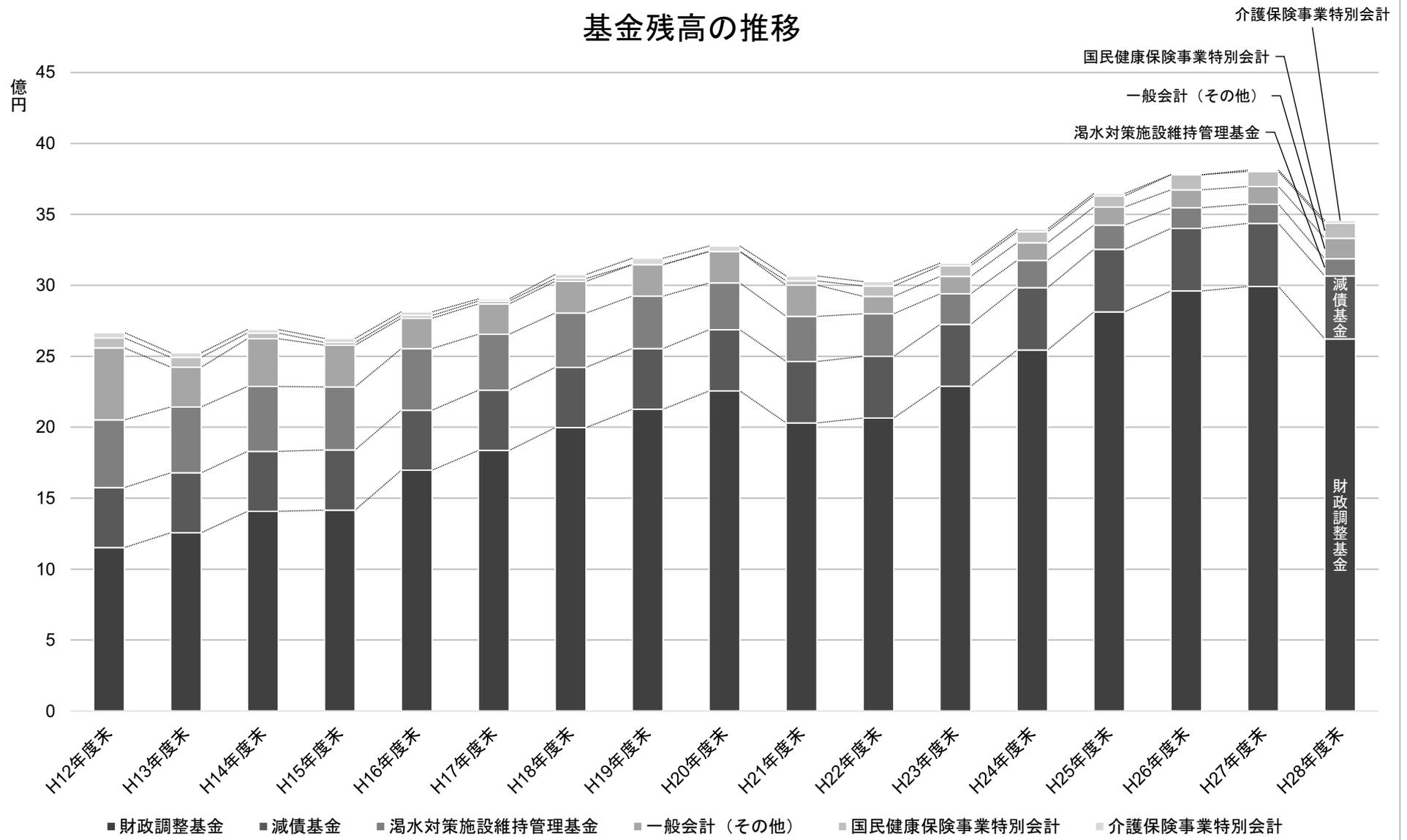
(7) 基金残高の推移

(単位：千円)

区 分	H19 年度末	H20 年度末	H21 年度末	H22 年度末	H23 年度末	H24 年度末	H25 年度末	H26 年度末	H27 年度末	H28 年度末
一 般 会 計	3,145,587	3,238,132	3,002,166	2,922,089	3,062,785	3,299,386	3,552,420	3,672,533	3,697,001	3,330,843
財政調整基金	2,126,681	2,256,333	2,030,281	2,064,756	2,288,490	2,544,657	2,812,254	2,959,496	2,991,739	2,622,098
減債基金	427,799	430,282	432,592	434,900	437,122	439,358	440,984	442,248	443,467	444,260
土地開発基金	18,403	18,403	18,477	18,514	18,572	18,614	18,656	18,694	18,730	18,758
渇水対策施設維持管理基金	368,979	330,325	319,051	299,038	215,395	192,319	170,855	145,412	136,484	120,990
教育文化振興基金	59,063	57,514	55,864	54,090	52,253	53,369	56,986	53,892	53,691	70,769
地域福祉基金	50,488	50,488	50,690	50,791	50,953	51,069	51,185	51,291	51,390	52,468
収入印紙等購買基金	0	0	0	0	0	0	1,500	1,500	1,500	1,500
ふるさと創生基金	94,174	94,787	95,211	0	0	0	0	0	0	0
国民健康保険事業特別会計	2	2	30,007	72,969	74,971	78,000	78,000	106,117	106,117	106,117
国民健康保険基金	2	2	30,007	72,969	74,971	78,000	78,000	106,117	106,117	106,117
介護保険事業特別会計	45,102	39,400	34,230	31,555	17,912	19,342	15,625	0	9,573	18,866
介護給付費準備基金	45,102	31,224	31,224	31,323	17,912	19,342	15,625	0	9,573	18,866
介護従事者処遇改善臨時特例基金	0	8,176	3,006	231	0	0	0	0	0	0
計	3,190,691	3,277,534	3,066,403	3,026,613	3,155,668	3,396,728	3,646,045	3,778,650	3,812,691	3,455,826

※ 項目ごとに端数処理をしているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

基金残高の推移



5. 町債の状況

(1) 一般会計

(単位：円)

区 分	平成27年度末 現 在 高	平成28年度中増減額		平成28年度末 現 在 高
		平成28年度中 起 債 額	平成28年度中 償 還 額	
1 建設地方債	1,773,328,981	151,800,000	240,651,862	1,684,477,119
(1) 総務債	0	6,200,000	0	6,200,000
地方公共団体情報セキュリティ強化対策事業[H28 (H27 繰越)]	0	6,200,000	0	6,200,000
(2) 衛生債	190,584,947	0	16,608,220	173,976,727
一般会計出資債（上水道事業）[H5～H17]	164,914,372	0	11,216,822	153,697,550
保健センター建設事業[H14]	25,670,575	0	5,391,398	20,279,177
(3) 農林水産業債	12,750,000	0	2,550,000	10,200,000
林道改良事業[H22 (H21 繰越)]	12,750,000	0	2,550,000	10,200,000
(4) 土木債	959,100,498	30,700,000	166,619,244	823,181,254
臨時地方道整備事業[H8～H18]	283,194,498	0	76,971,244	206,223,254
上野田公園整備事業[H14～H17]	41,914,000	0	17,066,000	24,848,000
まちづくり交付金事業[H17～H21]	581,592,000	0	72,582,000	509,010,000
南下城山防災公園整備事業[H27～H28]	52,400,000	30,700,000	0	83,100,000

(単位：円)

区 分	平成27年度末 現 在 高	平成28年度中増減額		平成28年度末 現 在 高
		平成28年度中 起 債 額	平成28年度中 償 還 額	
(5) 消防債	30,345,000	0	7,447,500	22,897,500
第2分団詰所建設等事業[H13]	2,100,000	0	2,100,000	0
群馬県衛星系等防災行政無線整備事業[H19]	4,275,000	0	2,137,500	2,137,500
第1分団詰所建設事業[H24]	18,970,000	0	2,710,000	16,260,000
消防団無線デジタル化事業[H27]	5,000,000	0	500,000	4,500,000
(6) 教育債	580,548,536	114,900,000	47,426,898	648,021,638
三津屋古墳保存整備事業[H13]	3,216,674	0	3,216,674	0
駒寄小学校プール建設事業[H14]	24,393,451	0	3,834,477	20,558,974
駒寄小学校校舎建設事業[H15]	237,504,982	0	16,277,493	221,227,489
駒寄小学校校舎大規模改造事業[H16]	34,244,000	0	2,446,000	31,798,000
明治小学校冷暖房改修事業[H17]	8,800,000	0	600,000	8,200,000
吉岡中学校体育館改築事業[H22]	133,300,767	0	12,623,925	120,676,842
明治小学校耐震改修事業[H23]	20,906,387	0	3,441,042	17,465,345
吉岡中学校北校舎エレベーター設置事業[H25 (H24 繰越)]	21,950,000	0	2,740,000	19,210,000
吉岡中学校南校舎防音改造事業[H25]	18,232,275	0	2,247,287	15,984,988
社会体育館改修事業[H27]	78,000,000	0	0	78,000,000
駒寄小学校トイレ改修事業[H28 (H27 繰越)]	0	30,400,000	0	30,400,000
明治小学校校舎増築事業[H28]	0	84,500,000	0	84,500,000

(単位：円)

区 分	平成27年度末 現 在 高	平成28年度中増減額		平成28年度末 現 在 高
		平成28年度中 起 債 額	平成28年度中 償 還 額	
2 財源対策のための地方債	3,241,559,239	267,000,000	269,309,518	3,239,249,721
(1) 減税補てん債 [H10~H18]	92,627,825	0	15,296,935	77,330,890
(2) 臨時税収補てん債 [H9]	8,428,550	0	4,172,343	4,256,207
(3) 臨時財政対策債 [H13~H28]	3,140,502,864	267,000,000	249,840,240	3,157,662,624
計	5,014,888,220	418,800,000	509,961,380	4,923,726,840

(2) 会計別

(単位：円)

区 分	平成27年度末 現 在 高	平成28年度中増減額		平成28年度末 現 在 高
		平成28年度中 起 債 額	平成28年度中 償 還 額	
一般会計	5,014,888,220	418,800,000	509,961,380	4,923,726,840
建設地方債	1,773,328,981	151,800,000	240,651,862	1,684,477,119
財源対策のための地方債	3,241,559,239	267,000,000	269,309,518	3,239,249,721
特別会計	3,047,766,160	26,200,000	238,743,799	2,835,222,361
公共下水道事業	1,906,483,990	26,200,000	171,197,891	1,761,486,099
農業集落排水事業	1,138,830,392	0	66,288,551	1,072,541,841
住宅新築資金等貸付事業	2,451,778	0	1,257,357	1,194,421
水道事業会計	1,295,592,769	0	75,364,162	1,220,228,607
計	9,358,247,149	445,000,000	824,069,341	8,979,177,808

※ 建設地方債：地方財政法で通常認められている地方債で、学校等の建物のほか、道路・橋りょう・公園等の建設事業のための借入金です。

※ 財源対策のための地方債：特別法等で財源不足を補うために特別に認められている地方債で、「臨時財政対策債」、「減税補てん債」、「臨時税収補てん債」が含まれます。

※ 臨時財政対策債：地方交付税が国の予算不足により満額交付されないため、財源不足額を補てんするために平成13年度から地方自治体で借り入れているもの。後年度の元利償還金（借入金返済金）は、地方交付税で100%措置されます。

※ 減税補てん債：平成6年度～平成18年度の税制改正による地方税の減収額を補てんするために借り入れたもの。

※ 臨時税収補てん債：地方消費税の創設時に、導入初年度は通年分が収入できないため、その税収を補てんするために平成9年度に借り入れたもの。

(3) 会計別（町民1人あたり）

平成27年度末現在高は、平成27年度末現在の町債残高を平成28年3月31日現在の人口で割ったものです。

平成28年度中増減額・平成28年度末現在高は、平成28年度中増減額・平成28年度末現在の町債残高を、それぞれ平成29年3月31日現在の人口で割ったものです。

（単位：円）

区 分	平成27年度末 現 在 高	平成28年度中増減額		平成28年度末 現 在 高
		平成28年度中 起 債 額	平成28年度中 償 還 額	
一般会計	240,811	19,882	24,210	233,751
建設地方債	85,154	7,207	11,425	79,969
財源対策のための地方債	155,657	12,676	12,785	153,781
特別会計	146,351	1,244	11,334	134,600
公共下水道事業	91,548	1,244	8,128	83,625
農業集落排水事業	54,686	0	3,147	50,918
住宅新築資金等貸付事業	118	0	60	57
水道事業会計	62,213	0	3,578	57,930
計	449,376	21,126	39,122	426,281

※ 項目ごとに端数処理をしているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

(4) 会計別（1世帯あたり）

平成27年度末現在高は、平成27年度末現在の町債残高を平成28年3月31日現在の世帯数で割ったものです。

平成28年度中増減額・平成28年度末現在高は、平成28年度中増減額・平成28年度末現在の町債残高を、それぞれ平成29年3月31日現在の世帯数で割ったものです。

（単位：円）

区 分	平成27年度末 現 在 高	平成28年度中増減額		平成28年度末 現 在 高
		平成28年度中 起 債 額	平成28年度中 償 還 額	
一般会計	667,584	54,249	66,057	637,788
建設地方債	236,066	19,663	31,173	218,197
財源対策のための地方債	431,517	34,585	34,885	419,592
特別会計	405,720	3,394	30,925	367,257
公共下水道事業	253,792	3,394	22,176	228,172
農業集落排水事業	151,601	0	8,587	138,930
住宅新築資金等貸付事業	326	0	163	155
水道事業会計	172,470	0	9,762	158,061
計	1,245,773	57,642	106,745	1,163,106

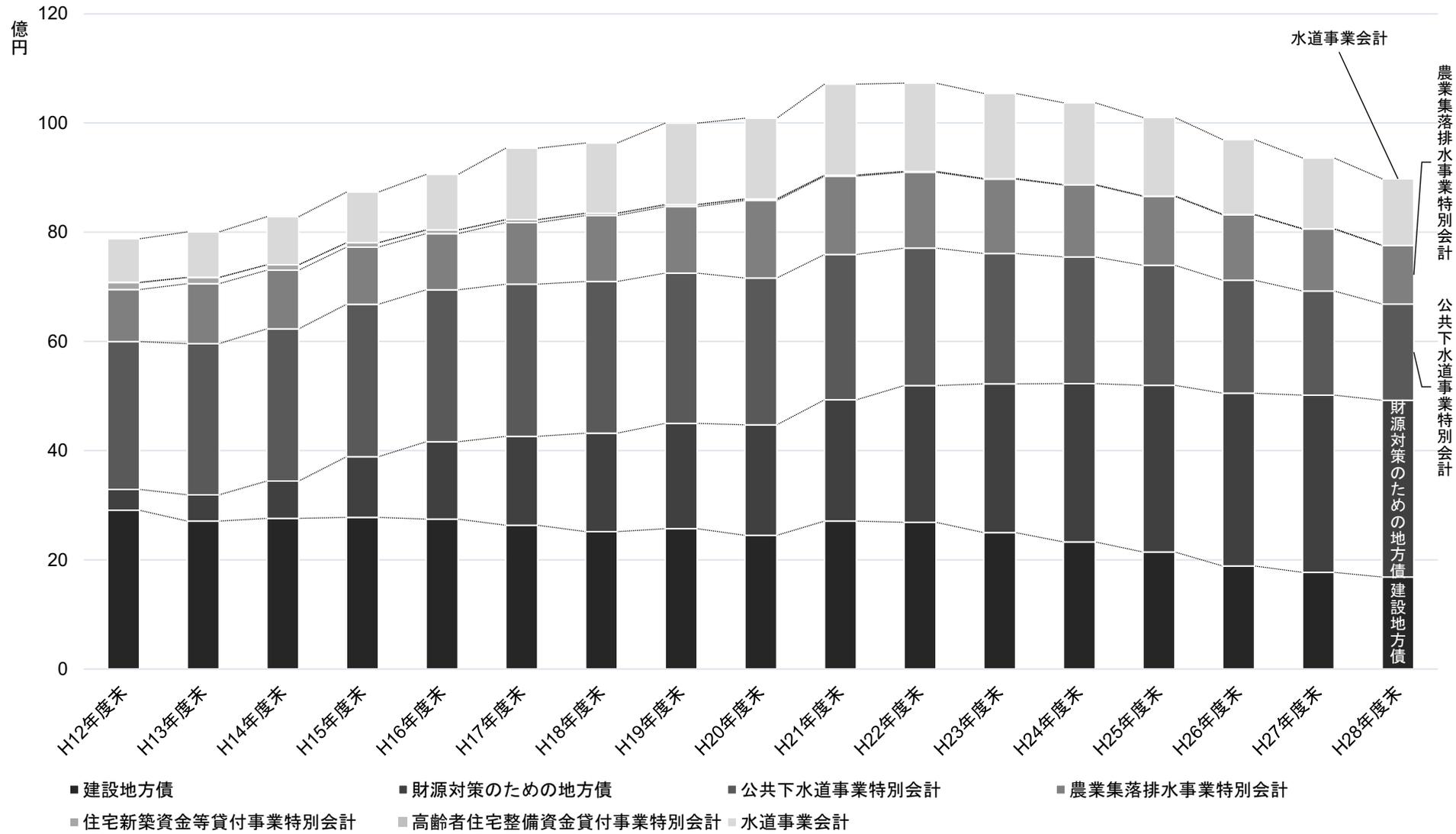
※ 項目ごとに端数処理をしているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

(5) 年度末町債残高の推移

(単位：千円)

区 分	H19 年度末	H20 年度末	H21 年度末	H22 年度末	H23 年度末	H24 年度末	H25 年度末	H26 年度末	H27 年度末	H28 年度末
一 般 会 計	4,499,109	4,473,173	4,931,534	5,190,931	5,224,769	5,229,477	5,196,334	5,053,281	5,014,888	4,923,727
建設地方債	2,569,835	2,447,973	2,712,887	2,686,285	2,501,629	2,330,591	2,143,503	1,889,494	1,773,330	1,684,478
減税補てん債	317,767	290,127	261,060	231,170	200,912	170,239	139,179	107,669	92,628	77,331
臨時税收補てん債	38,980	35,422	31,792	28,089	24,312	20,459	16,529	12,518	8,428	4,256
臨時財政対策債	1,572,527	1,699,651	1,925,795	2,245,387	2,497,916	2,708,188	2,897,123	3,043,600	3,140,502	3,157,662
特 別 会 計	4,005,036	4,134,174	4,113,672	3,920,776	3,755,524	3,641,514	3,467,388	3,273,460	3,047,766	2,835,222
公共下水道事業	2,750,224	2,688,780	2,663,014	2,518,652	2,383,764	2,318,913	2,197,018	2,065,946	1,906,484	1,761,486
農業集落排水事業	1,219,332	1,421,608	1,432,837	1,389,808	1,363,468	1,315,656	1,264,843	1,203,484	1,138,830	1,072,542
住宅新築資金等貸付事業	35,480	23,786	17,821	12,316	8,292	6,945	5,527	4,030	2,452	1,194
水道事業会計	1,494,629	1,482,264	1,667,088	1,616,838	1,559,760	1,501,095	1,436,759	1,369,423	1,295,593	1,220,229
計	9,998,774	10,089,611	10,712,294	10,728,545	10,540,053	10,372,086	10,100,481	9,696,164	9,358,247	8,979,178

地方債残高の推移



6. 主要事業一覧表

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(単位: 円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
1 一般管理費	新規	補助金等 審査委員会 120,516 (124千円)	1 報酬		53P	平成26年度補助金等審査委員会の答申で優先度の高い補助金等から複数年にわたって審査を行うことが提案された。 この答申内容を踏まえて、優先度の高い補助金等から5分割し、5年で1サイクルとして平成28年度より毎年度、審査を行うことを決定した。 平成28年度委員会では、審査対象となった補助金等16件が平成26年度委員会の答申内容を反映しているかの検証を中心に行ったほか、4件の新規の補助金等についても審査を行った。	総務政策課 (政策室)	町民 行政
			・補助金等審査委員会委員	105,600				
			8 報償費		55P			
			・補助金等審査委員会委員 謝礼	12,000				
	11 需用費		-					
	・食糧費 (行政改革)	2,916						
○ 一般財源	120,516							
新規	第3次行政改革 大綱策定業務 1,944,000 (2,000千円)	13 委託料		55P	近年の環境変化から生じる行政運営上の課題に対し、地方分権時代に即した基礎自治体としての行政基盤の確立を推進するため、これまでの取組みを踏まえるとともに新たな行政改革の指針として平成29年度から平成32年度までの4カ年を計画期間とする大綱を策定した。	総務政策課 (政策室)	町民 行政	
		・第3次行政改革大綱策定 業務委託	1,944,000					
○ 一般財源	1,944,000							
継続	自治会事務委託 36,532,800 (36,533千円)	13 委託料		55P	広報誌、行政連絡文書の配布・回覧等を委託し、住民サービスの充実及び町政の能率的かつ円滑な運営が図られた。	町民生活課 (町民サービス室)	町民 行政	
		・自治会事務委託料	36,532,800					
○ 一般財源	36,532,800							

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
1 一般管理 費	継続	自治会活動 支援事業 8,999,750 (9,373千円)	14 使用料及び賃借料		55 P	より良い地域づくりを目指すことを目的として自治会活動の全般にわたり助成を行った。 また、地域づくりの拠点となる集会施設の修理費用や維持管理の一部を助成し、地域住民の福祉の向上を図った。各自治会において、地域づくり振興事業として「ふれあい交流会」「夏祭り」等自主的な取組による地域に根差した活動の支援をした。 集会施設等整備事業としては、小倉自治会のクロス張り替え・畳表替え、上野原自治会のトイレ入口ドア交換工事、寺下自治会の濡れ縁・屋根・風防フェンス新設工事、集落センターグラウンド入口補修工事、駒寄自治会のトイレ改修工事の実績に対し補助金を交付した。	町民生活課 (町民サービス室)	町民 行政
			・住民広場借地料	1,212,750				
			19 負担金、補助及び交付金		57 P			
			・自治会振興助成金	2,600,000				
			・自治会連合会活動補助金	100,000				
・地域づくり振興事業補助金	1,075,000							
・集会施設地代助成事業補助金	120,000							
・集会施設等整備事業補助金	1,684,000							
・魅力あるコミュニティ助成事業助成金	1,608,000							
・集会施設維持管理における交付金	600,000							
20 諸収入		43 P						
・魅力あるコミュニティ助成事業助成金	1,608,000							
○ 一般財源	7,391,750	—						
3 財政管理 費	新規	公共施設等 総合管理計画 策定業務 16,362,000 (18,181千円)	13 委託料		57 P	長期的な視点をもって将来の人口や財政推計をもとに、今後40年間の公共施設等の総合的かつ計画的な管理を行うため、公共施設等の長寿命化や統廃合などの基本的な方針を策定した。 また、個別施設ごとの利用状況等データを管理する公共施設マネジメントシステムを併せて導入した。	財務課 (財政室)	町民 行政
			・公共施設等総合管理計画策定業務	16,362,000				
○ 一般財源	16,362,000	—						

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
5 財産管理 費	継続	節電対策事業 (グリーンカーテン等) 38,440 (39千円)	11 需用費 ・消耗品費 (施設管理費) 38,440		59 P	電気使用量を抑制するため、グリーンカーテンの設置による庁内冷房運転時間の短縮及び庁内蛍光灯節電の励行などを実施。これら節電対策により夏季(6月から10月)の電気使用量はH22年度比22.6%減少した。 (H22:101,566kwh→H28:78,659kwh)	財務課 (財政室)	町民 行政
			○ 一般財源 38,440		—			
6 企画費	新規	イメージアップ 事業 124,287 (155千円) 総合戦略	8 報償費 ・フォトコンテスト審査委員会委員謝礼 13,200		61 P	吉岡町の魅力ある様々な資源を発掘し、町の良さを再発見することで、郷土愛の醸成を図りつつ、認知度及びイメージの向上を目指すとともに、受賞作品を町が情報発信する各種媒体において活用することを目的として、町の良さを表現した写真を募集し、優秀な作品については下記の賞を授与した。 各賞:最優秀賞(1点)・優秀賞(2点)・入賞(5点)・佳作(4点)・審査員特別賞(3点) 応募人数:17人 応募点数:30点 また、吉岡町のイメージアップを図るため、各種イベント等で配布する目的で、ご当地ぐんまちゃんのイラストが印刷されているトートバックを作成した。	総務政策課 (政策室)	町民 行政
			11 需用費 ・消耗品費(企画費) 3,619 ・食糧費(企画費) 972					
			15 県支出金 ・地域力向上事業補助金 43,000		31 P			
			○ 一般財源 81,287		—			
	新規	ホームページ 改修事業 3,996,000 (3,996千円) 総合戦略	13 委託料 ・ホームページ改修委託料 3,996,000		63 P	観光・行政情報発信の充実強化を図るため、ホームページのリニューアルを行った。 自動翻訳サービス(英、中<簡体字・繁体字>、韓)、音声読み上げ機能、背景色の変更機能を導入した。	総務政策課 (庶務行政室)	町民 行政
			○ 一般財源 3,996,000		—			

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
6 企画費	新規	グループタクシー 実証実験 150,694 (309千円) 総合戦略	11 需用費 ・印刷製本費 (交通対策事業用) 102,600	61P	交通不便地区・空白地区の解消に向けた取組みとして、交通弱者がタクシーを利用した際に支払う運賃等の一部を助成することにより外出機会の創出を図り、もって日常生活における利便性の向上に資することを目的に、町内全域を対象とした実証実験を9ヶ月間実施した。 申請者数は27人(実20人)、利用者数は19人(実13人)、また利用回数は94回で運行回数とすると70回となり、内訳は単独乗車46回、相乗乗車24回(相乗率34.3%)の結果であった。 同事業を平成29年度も実証実験として実施中である。	総務政策課 (政策室)	安全 便利
			12 役務費 ・郵便料 (交通対策事業用) 1,094				
			13 委託料 ・グループタクシー実証実験業務委託料 47,000	63P			
			○ 一般財源 150,694	—			
6 企画費	新規	高校生等 通学支援事業 78,000 (150千円) 総合戦略	19 負担金、補助及び交付金 ・高校生等通学支援事業補助金 78,000	63P	公共交通の利用促進と高校生等の保護者の経済的負担軽減を図るため、高校生等が利用する通学定期券購入費の一部を助成した。 申請者: 27人(実10人)	総務政策課 (政策室)	安全 便利
			○ 一般財源 78,000	—			

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
6 企画費	新規	図柄入りナンバー 導入推進事業 60,661 (195千円)	12 役務費 ・郵便料 (交通対策事業 用) 36,000	61 P	平成26年11月に前橋・吉岡地域の情報発信力 強化、地域振興、連携した地域の繋がり等の醸成を 目的にご当地ナンバー『前橋』が導入された。 平成30年10月頃交付予定の地方版図柄入りナ ンバープレートの導入検討にあたり、町民アンケ ート調査を実施したところ、『是非取り付けたい』、 『図柄によっては取り付けたい』といった関心を示 す回答が45%、関心を示さない回答が41%の結 果となり、前橋市実施の市民アンケート調査の結果 と大きな違いは無いものであった。 地域アピール、自動車ユーザーによる選択制、住 民アンケート調査結果等から、前橋市と設置する図 柄入り前橋ナンバー導入推進協議会では導入に向け た取り組みを進めていくことについて決定した。	総務政策課 (政策室)	町民 行政
			19 負担金、補助及び交付金 ・図柄入りナンバー導入推 進事業負担金 24,661	63 P			
			○ 一般財源 60,661	—			

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
6 企画費	継続	ふるさと祭り 7,066,675 (7,108千円)	11 需用費		61 P	誰もが気軽に参加でき、楽しみながら親交を深め合い、明るく心豊かな町づくりに寄与することを目的とし、10月9日(日)に役場北駐車場にてふるさと祭りを実施した。 当日は友好都市協定を締結した北海道大樹町の特設ブースを設けたほか、各自治会による発表などが行われ、概ね7,000人が来場した。	町民生活課 (生活環境室)	町民行政
			・消耗品費(イベント用)	1,152,589				
			・食糧費(イベント用)	742,766				
			・印刷製本費(イベント用)	156,427	63 P			
			12 役務費					
			・クリーニング代(イベント用)	41,328				
			・各種保険料(イベント用)	371,080				
			13 委託料					
			・業務委託料(イベント用)	2,031,885				
			14 使用料及び賃借料					
・文化センター使用料(イベント用)	21,000							
・借上料(イベント用)	2,289,600							
19 負担金、補助及び交付金								
・ふるさと祭り交付金	260,000							
20 諸収入		43 P						
・オータムジャンボ宝くじ市町村交付金	3,545,000							
○ 一般財源	3,521,675	—						

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
8 諸費	継続	防犯事業 3,971,587 (4,008千円)	11 需用費 ・防犯用事務・事業用品 519,151 12 役務費 ・防犯活動保険料 9,900 14 使用料及び賃借料 ・防犯灯リース料 2,099,772 15 工事請負費 ・防犯灯設置工事 770,764 19 負担金、補助及び交付金 ・渋川地区広域暴力排除推 進協議会負担金 53,000 ・県防犯連渋川支部会費 419,000 ・防犯委員会補助金 100,000	63 P 65 P	地域住民の防犯意識の高揚のため、防犯委員会による定期的な防犯パトロールや町内での啓発活動等に取り組んだほか、LED防犯灯(31灯)を設置した。	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利
		○ 一般財源 3,971,587	—				
	継続	防犯カメラ 設置事業 3,010,656 (3,273千円) [総合戦略]	11 需用費 ・防犯カメラ電気料 11,144 15 工事請負費 ・防犯カメラ設置工事 2,999,512	65 P	住民の安心・安全、児童・生徒の通学路の安全確保、町有施設の安全管理を目的として、防犯カメラを8台設置した。	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利
		○ 一般財源 3,010,656	—				
継続	放課後児童 見守りパトロール 2,204,183 (2,246千円) [総合戦略]	11 需用費 ・防犯用事務・事業用品 21,783 13 委託料 ・放課後児童見守りパト ロール委託料 2,182,400	63 P 65 P	子育て世代の女性が安心して育児に取り組める環境の整備を目的として、放課後児童見守りパトロールを実施した。 見守りパトロールの内容は、公益社団法人吉岡町シルバー人材センターに委託し、町の青色回転灯装備車両を使用し、児童の下校時間に合わせて午後2時30分から午後7時30分のパトロールを240日実施した。	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利	
		○ 一般財源 2,204,183	—				

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
10 交通対策費	継続	道路交通安全 施設整備事業 5,527,872 (5,540千円)	15 工事請負費		65 P	道路反射鏡(25箇所)、区画線(3,431.0m)、警戒標識(2箇所)などを整備し、交通安全の向上を図った。	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利
			・道路交通安全施設工事	5,527,872				
			11 交通安全対策特別交付金		19 P			
			・交通安全対策特別交付金	3,862,000				
			○ 一般財源	1,665,872	—			
12 電子計算費	新規	地方公共団体 情報セキュリティ 強化対策事業 19,198,080 (19,994千円)	13 委託料		67 P	マイナンバー制度が本格運用となり、平成29年7月からLGWAN回線を利用した情報連携が開始(予定)されることに伴い、基幹系端末からの情報持ち出し不可設定、二要素認証の導入、情報系ネットワークとLGWANネットワークの分離等を連携開始前に必ず実施するよう、総務省から要請されている。 これに伴い、国の平成27年度補正予算で創設された「地方公共団体情報セキュリティ強化対策費補助金」により、特に緊急度の高い基幹系システムにおける情報持ち出し不可設定、二要素認証のほか、アクセスログ取得システムの導入を行った。 また、平成29年度に実施するLGWANとインターネット分離事業の準備として、基幹系で利用しているLAN配線を論理的に分割し、LGWANネットワークとの共用化を実施した。	総務政策課 (政策室)	町民 行政
			・導入作業費(繰越明許)	14,704,200				
			・導入作業費	4,493,880				
			14 国庫補助金		27 P			
			・地方公共団体情報セキュリティ強化対策費補助金(繰越明許)	6,200,000				
			21 町債		47 P			
			・一般補助施設整備等事業債(地方公共団体情報セキュリティ強化対策事業)(繰越明許)	6,200,000				
			○ 一般財源	6,798,080	—			

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
14 温泉事業 費	継続	吉岡町緑地運動 公園及びリバー ピア吉岡管理業務 28,126,709 (29,058千円)	11 需用費	69 P	○主な経費 ・印刷製本費(温泉招待券):192,067円 ・修繕料(温泉施設用):219,456円 ・緑地運動公園及びリバー ピア吉岡指定管理料 :18,900,000円 ・リバーピア吉岡太陽光設備修繕工 事:4,050,000円 ・よしおか温泉井戸水中ポンプ交 換工事:2,970,000円 ・クラブハウス床張り替え工 事:1,031,400円 ・よしおか温泉樹木伐採工 事:491,400円 ・その他工事費:272,386円	財務課 (財政室)	町民 行政
			・印刷製本費 192,067				
			・修繕料(温泉施設用) 219,456				
			13 委託料				
			・緑地運動公園及びリバー ピア吉岡指定管理料 18,900,000				
15 工事請負費	-						
・温泉施設改修工事 8,815,186							
○ 一般財源 28,126,709							

(款) 2 総務費

(項) 4 選挙費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
2 参議院議員選挙費	新規	参議院議員 選挙事務 8,184,566 (8,191千円)	1 報酬		73 P	参議院議員通常選挙に係る選挙事務	総務政策課 (庶務行政室)	町民 行政
			・投票管理者	222,900				
			・開票管理者	10,600				
			・開票立会人	61,600				
			・投票立会人	465,800				
			3 職員手当等					
			・投開票事務従事者手当等	4,291,193				
			8 報償費					
			・ポスター掲示場設置謝礼	42,028				
			11 需用費					
			・選挙事務備品	201,162				
			・食糧費	258,380				
			・印刷製本費	101,790				
			・修繕料	24,429				
			12 役務費					
・郵便料	475,976							
・臨時電話料	59,764							
13 委託料		75 P	(比例代表) 選挙人名簿登録者数 16,656 人 当日有権者数 16,583 人 投票者数 8,742 人 投票率 52.72%					
・ポスター掲示場設置撤去委託	424,764							
・投開票施設設置撤去委託	646,380							
・選挙事務電算委託	847,800							
14 使用料及び賃借料								
・投票所借上料	50,000							
15 県支出金				35 P				
・参議院議員選挙費	8,184,566							

(款) 3 民生費

(項) 1 社会福祉費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
1 社会福祉 総務費	継続	臨時福祉給付金 給付事業 11,427,123 (17,058千円)	3 職員手当等		77 P	低所得者に対し、消費税率の引上げ(5%⇒8%) による影響を緩和するため、引き続き給付を行なっ た。 ・支給対象 市町村民税(均等割)が課税されていない者(市 町村民税(均等割)が課税されている者の扶養親 族等を除く) ・支給額:対象者1人つき 3,000円 ・実績:支給者 2,376人	健康福祉課 (高齢福祉室)	健康福祉
			・時間外手当(臨時福祉給 付金給付事業)	37,760				
			4 共済費					
			・社会保険料(臨時福祉給 付金給付事業)	35,048				
			7 賃金					
			・臨時職員	195,532				
			11 需用費					
			・消耗品費(臨時福祉給付 金給付事業)	105,263				
			12 役務費					
			・郵便料(臨時福祉給付金 給付事業)	614,728				
			・口座振替手数料(臨時福 祉給付金給付事業)	256,392				
			13 委託料					
			・電算業務委託料(臨時福 祉給付金給付事業)	2,003,400				
			19 負担金、補助及び交付金					
・臨時福祉給付金	7,128,000							
23 償還金、利子及び割引料								
・臨時福祉給付金返還金	1,051,000							
14 国庫支出金		25 P						
・臨時福祉給付金等給付事 務費補助金	3,248,123							
・臨時福祉給付金給付事業 費補助金	7,128,000							
○ 一般財源		1,051,000		—				

(款) 3 民生費

(項) 1 社会福祉費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
1 社会福祉 総務費	新規	年金生活者等支援 臨時福祉給付金 給付事業 48,657,122 (57,320千円)	4 共済費		77 P	「一億総活躍社会」の実現に向けた国の施策に基づき、低所得の高齢者等を対象に年金生活者等支援臨時福祉給付金を支給した。	健康福祉課 (高齢福祉室)	健康福祉
			・社会保険料 (年金生活者等支援臨時福祉給付金事業)	148,748				
			7 賃金					
			・臨時賃金	963,958				
			11 需用費					
			・消耗品費 (年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業)	245,824				
12 役務費		79 P	・支給対象 ① 低所得者の高齢者向け給付金 平成27年度臨時福祉給付金の対象者のうち平成28年度中に65歳以上になる者 ② 低所得者の障害・遺族基礎年金受給者向け給付金 平成28年度臨時福祉給付金の対象者のうち、障害基礎年金又は遺族基礎年金を受給している者 (①の支給対象者を除く) ・支給額: 対象者1人につき30,000円 ・支給者: ①1,384人 ② 134人					
・郵便料 (年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業)	291,520							
・口座振替手数料 (年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業)	149,472							
13 委託料		25 P						
・電算業務委託料 (年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業)	1,317,600							
19 負担金、補助及び交付金								
・年金生活者等支援臨時福祉給付金	45,540,000							
14 国庫支出金								
・臨時福祉給付金等給付事務費補助金	3,117,122							
・年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業費補助金	45,540,000							

(款) 3 民生費

(項) 1 社会福祉費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳 (款の区分ごと)						
4 老人福祉 費	継続	一人暮らし老人 緊急通報システム 設置事業 486,864 (630千円)	13 委託料		81P	慢性疾患等で健康不安を抱え、町内に親族のいな い一人暮らしの高齢者に、緊急通報システムを設置 する。(自己負担なし)	健康福祉課 (高齢福祉室)	健康 福祉	
			・一人暮らし老人緊急通報 業務委託料	486,864					
			○ 一般財源	486,864	—				
	継続	敬老祝金品 支給事業 6,499,672 (7,614千円)	8 報償費		81P	敬老の意を表するため、祝金を年一回支給する。 【実績】	健康福祉課 (高齢福祉室)	健康 福祉	
			・敬老の日祝い品	755,985					
			11 需用費						
・消耗品費			32,377						
		20 扶助費							
		・敬老年金	5,670,000						
		○ 一般財源	6,499,672	—					
継続	ねたきり老人 介護慰労金事業 3,880,000 (6,000千円)	20 扶助費		81P	在宅で介護している介護者の労をねぎらうため、 年1回支給する。	健康福祉課 (高齢福祉室)	健康 福祉		
		・介護慰労金	3,880,000						
		○ 一般財源	3,880,000	—					
					【実績】				
					要介護1・2 20,000円 70名				
					要介護3 40,000円 22名				
					要介護4 100,000円 10名				
					要介護5 150,000円 4名				

(款) 3 民生費

(項) 1 社会福祉費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
4 老人福祉 費	継続	介護保険事業 特別会計繰出金 177,789,402 (191,143千円)	28 繰出金			介護保険事業特別会計への繰出金	健康福祉課 (高齢福祉室)	健康 福祉
			・介護保険事業特別会計繰 出金	177,789,402	81 P			
			14 国庫支出金					
			・低所得者介護保険料軽減 負担金 (現年度分)	856,800	23 P			
			15 県支出金					
			・低所得者介護保険料軽減 負担金 (現年度分)	428,400	29 P			
・低所得者介護保険料軽減 負担金 (過年度分)	3,600	31 P						
18 繰入金								
・介護保険事業特別会計繰 入金	333,000	39 P						
○ 一般財源			176,167,602	—				

(款) 3 民生費

(項) 1 社会福祉費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
6 障害者福祉費	継続	障害者自立 支援事業 254,559,413 (266,178千円)	11 需用費		83 P	障害を抱える方の日常生活及び社会生活を支えるため、障害福祉サービス費、補装具費、障害者医療費等の支給を行う。 【障害福祉サービス等事業実績 (延件数)】 ・ 居宅介護 (275 件) ・ 同行援護 (48 件) ・ 療養介護 (36 件) ・ 生活介護 (385 件) ・ 短期入所 (106 件) ・ 施設入所支援 (252 件) ・ 共同生活援助 (165 件) ・ 宿泊型自立訓練 (10 件) ・ 自立訓練 (17 件) ・ 就労移行支援 (41 件) ・ 就労継続支援 (460 件) ・ サービス利用計画等 (219 件) ・ 地域相談支援 (36 件) 【補装具事業実績 (延件数)】 ・ 補装具 (31 件) 【障害者医療費事業実績 (実件数)】 ・ 更生医療 (5 件) ・ 育成医療 (4 件) ・ 療養介護医療 (3 件)	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉
			・ 消耗品費	22,505				
			・ 印刷製本費	35,100				
			12 役務費					
			・ 自立支援医療費支払手数料	3,241				
			・ 障害福祉サービス費支払手数料	337,800				
			・ 療養介護医療費支払手数料	1,680				
			・ 育成医療審査手数料	9,766				
			19 負担金、補助及び交付金					
			・ 居宅介護	19,328,919				
			・ 療養介護	9,041,750				
			・ 生活介護	73,860,339				
			・ 短期入所	6,650,378				
			・ 施設入所支援	28,739,541				
			・ 同行援護	2,567,439				
			・ 自立訓練	1,022,777				
			・ 就労移行支援	6,468,688				
			・ 就労継続支援	59,706,454				
			・ 共同生活援助	16,116,338				
			・ 宿泊型自立訓練	774,072				
			・ 計画相談支援費	3,676,945				
			・ 地域定着支援費	109,368				
			20 扶助費					
・ 障害福祉サービス利用給付金	218,974							
・ 更生医療給付	5,370,204							
・ 育成医療給付	438,968							
・ 補装具交付	4,756,774							
・ 補装具修理	589,562							
・ 療養介護医療費	2,310,273							
・ 高額障害福祉サービス費等給付費	6,208							
23 償還金、利子及び割引料								
・ 返納金	12,395,350							
14 国庫支出金								
・ 障害者医療費国庫負担金	6,159,000							
・ 障害者自立支援給付費国庫負担金	119,505,248							
15 県支出金								
・ 障害者医療費県負担金	3,079,500							
・ 障害者自立支援給付費県負担金	59,752,624							
・ 障害福祉サービス利用給付事業補助金	164,000							
○ 一般財源	65,899,041							

(款) 3 民生費

(項) 1 社会福祉費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
6 障害者福祉費	継続	障害児支援事業 57,247,291 (73,394千円)	19 負担金、補助及び交付金		85 P	児童発達支援、放課後等デイサービス利用者に対し、障害児通所支援費の支給を行う。 また、支援費の受給者に対し、どのようにサービスを利用していくかの計画作成を行い、定期的にモニタリングを行う相談支援費を支給する。 ・児童発達支援給付 延 81 人 ・放課後等デイサービス 延 349 人 ・高額障害児通所給付 延 4 人 ・障害児相談支援給付 延 94 人	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉
			・障害児通所支援	53,770,220				
			・障害児相談支援	1,679,459				
			20 扶助費		23 P			
			・高額障害児(通所・入所)給付費	7,726				
			23 償還金、利子及び割引料		29 P			
			・返納金	1,789,886				
14 国庫支出金		—						
・障害児支援費国庫負担金	27,728,702							
15 県支出金								
・障害児支援費県負担金	13,864,350							
○ 一般財源		15,654,239						
7 医療福祉費	継続	医療費無料化事業 207,420,176 (216,872千円)	11 需用費		85 P	子ども、重度心身障害者、母子・父子家庭の方の健康管理の向上に寄与するために、社会保険等で医療を受けた場合の自己負担分を公費で負担する。 【実施内容】 件数 69,964 件で 1,251 件増 医療費 202,979,165 円で 11,956,756 円増 人員平均 4,444 人で 9 人増	健康福祉課 (保険室)	健康福祉
			・消耗品費	25,125				
			12 役務費		87 P			
			・郵便料	8,424				
			13 委託料					
			・保険者事務電算処理委託料	1,199,852				
			・審査支払委託料	3,207,610				
			20 扶助費		33 P			
・医療費	202,979,165							
15 県支出金		43 P						
・医療福祉費県補助金	98,652,820							
20 諸収入								
・福祉医療費納入金	2,166,786							
○ 一般財源		106,600,570						

(款) 3 民生費

(項) 1 社会福祉費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳 (款の区分ごと)						
9 老人福祉 センター費	継続	老人福祉センター 管理業務 18,624,000 (19,124千円)	13 委託料		87P	老人福祉センターの管理を、社会福祉法人吉岡町 社会福祉協議会に指定管理者として行わせることに より、効率的運営と住民福祉の向上を図る。	健康福祉課 (高齢福祉室)	健康 福祉	
			・老人福祉センター指定管 理料	18,624,000					
			○ 一般財源	18,624,000	—				
10 後期高齢 者医療費	継続	後期高齢者医療 事業特別会計 繰出金 39,596,264 (39,598千円)	28 繰出金		87P	後期高齢者医療事業特別会計への繰出金。 【実施内容】 繰出金対前年度: +926,480円 (+2.4%)	健康福祉課 (保険室)	健康 福祉	
			・後期高齢者医療事業特別 会計事務費等繰出金	8,959,667					
			・後期高齢者医療事業特別 会計保険基盤安定繰出金	30,636,597	89P				
			15 県支出金		29P				
・後期高齢者医療保険基盤 安定制度負担金	22,977,447								
			○ 一般財源	16,618,817	—				

(款) 3 民生費

(項) 2 児童福祉費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
1 児童福祉 総務費	新規	赤ちゃんの駅 (情報マップ) 78,030 (100千円) 総合戦略	11 需用費		89P	渋川広域圏で実施する地方創生事業であり、外出 中におむつ替えや授乳などで誰でも自由に立ち寄る ことができる公共施設や民間施設を「赤ちゃんの駅」 として指定する。 平成28年度は、新たに5か所の民間施設が赤ち ゃんの駅として指定され、情報マップに登載し増刷 を行った。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康 福祉
			・印刷製本費	78,030				
			○ 一般財源	78,030	—			

(款) 3 民生費

(項) 2 児童福祉費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
1 児童福祉 総務費	継続	ファミリー・ サポート・ センター事業 470,535 (471千円)	13 委託料 ・ファミリー・サポート・ センター広域実施委託料 470,535	89 P	地域子ども・子育て支援事業のひとつで、「育児援助を受けたい人」と「育児援助を行いたい人」が会員となり、センターを通じて子育ての相互援助活動(子どもの預かり、保育施設等への送迎など)を有料で行うもの。 渋川広域圏で共同実施しており、吉岡町住民の利用分について渋川市に委託料を支出した。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉	
		○ 一般財源 470,535	—					
	継続	産前・産後 サポート事業 36,936 (71千円) 総合戦略	13 委託料 ・産前・産後サポート事業 広域実施委託料 36,936	89 P	育児・家事等の支援を必要とする産前・産後期の母親の精神的・肉体的負担を軽減し、安心して育児や日常生活が営めるよう支援する。 1回につき1,700円(2時間)で、3回目までを町が負担し、4回目以降は自己負担となる。ただし、多胎妊娠の場合は6回目までを町が負担する。 渋川広域圏で共同実施しており、吉岡町住民の利用分について渋川市に委託料を支出した。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉	
		○ 一般財源 36,936	—					
2 児童手当 費	継続	児童手当 支給事業 407,285,000 (408,600千円)	20 扶助費 ・児童手当 407,285,000	91 P	児童の年齢等に応じて以下の手当を支給する。 ・0～3歳未満：15,000円/月 ・3歳～小学生(第1・2子)：10,000円/月 ・3歳～小学生(第3子)：15,000円/月 ・中学生：10,000円/月 ・特例給付：5,000円/月	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉	
	14 国庫支出金 ・児童手当国庫負担金 285,651,665	23 P						
	15 県支出金 ・児童手当県負担金 60,816,665	29 P						
	○ 一般財源 60,816,670	—						

(款) 3 民生費

(項) 2 児童福祉費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
3 児童保育 費	継続	子どものための 教育・保育給付 690,650,742 (699,301千円)	13 委託料		91 P	平成27年度から創設された子ども・子育て支援 新制度により、従来バラバラに行われていた認定こ ども園、幼稚園、保育所等に対する国の財政支援の 仕組みが統一され、子どものための教育・保育給付 が創設された。 ・保育所運営委託 保育を必要とする乳幼児を対象に、健全な心身 の発達を目的として、町内在住の乳幼児が通う町 内外の私立認可保育所に対して委託料を支払う。 町内5保育所のほか、町外各保育所に対して支 払いを行った。 ・施設型給付 町内在住の乳幼児が通う、町内外の認定こども 園・保育所・幼稚園等に支払いを行う。 町外の各認定こども園に対して支払いを行っ た。 なお、私立保育所及び施設型給付に移行しない幼 稚園等については、それぞれ委託費及び幼稚園就園 奨励補助の対象となる。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康 福祉
			・保育所運営委託料	673,272,800				
			19 負担金、補助及び交付金		19 P			
			・施設型給付費	17,377,942				
			12 分担金及び負担金		23 P			
			・保育運営費保護者負担金 (現年度分)	153,127,050				
			・保育運営費保護者負担金 (過年度分)	846,700				
14 国庫支出金		29 P						
・子どものための教育・保 育給付費国庫負担金	185,200,737							
15 県支出金		33 P						
・子どものための教育・保 育給付費県負担金	92,600,368							
・3歳未満児第3子以降保 育料無料化事業県補助金	3,019,000							
・群馬県施設型給付費等補 助金	2,000,000							
○ 一般財源	253,856,887	—						

(款) 3 民生費

(項) 2 児童福祉費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
3 児童保育 費	継続	地域子ども・ 子育て支援事業 14,906,600 (14,917千円)	13 委託料		91P	すべての子育て家庭を対象に、地域のニーズに応じた様々な子育て支援を充実するもので、乳幼児健康支援一時預かり事業(病後児保育)、地域子育て支援拠点事業、一時預かり事業、延長保育事業などを実施する。 乳幼児健康支援一時預かり事業は、病後児保育事業を実施している竹内小児科に対して支払いを行った。 地域子育て支援拠点事業は、吉岡町子育て支援センターいちょうクラブの事業実施に対して委託料の支払いを行った。 一時預かり事業については、町内5保育所のほか、町外の認定こども園に対して支払いを行った。 延長保育事業については、町内の事業を実施している保育所に対して支払いを行った。 ※ 別掲の学童クラブ、ファミリー・サポート・センター及び妊婦健康診査についても、地域子ども・子育て支援事業に含まれる。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉
			・乳幼児健康支援一時預かり事業委託料	2,407,000				
			・地域子育て支援拠点事業運営委託料	7,803,000				
			19 負担金、補助及び交付金					
			・一時預かり事業補助金	1,803,600				
			・延長保育費補助金	2,684,000				
			・幼稚園型一時預かり事業補助金	209,000				
12 分担金及び負担金		19P						
・一時保育料保護者負担金	1,000,000							
・延長保育料保護者負担金	1,594,600							
・病後児保育料保護者負担金	152,000							
14 国庫支出金		25P						
・子ども・子育て支援交付金	4,324,000							
15 県支出金		33P						
・子ども・子育て支援交付金	4,323,000							
○ 一般財源			3,513,000	—				

(款) 3 民生費

(項) 2 児童福祉費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
3 児童保育費	継続	保育所助成事業 15,285,650 (21,688千円)	19 負担金、補助及び交付金		91 P	子ども・子育て支援新制度による国の財政措置を受けず、地方単独事業として、障害児保育費補助金及び保育充実促進費補助金を支給し、児童福祉の充実を図るもの。 障害児保育費補助については、町内の1保育所に対して支払いを行った。 保育充実促進費については、町内5保育所によるアレルギー対策の実施のほか、町内外の保育所の1歳児受け入れに対する助成として支払いを行った。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉
			・障害児保育費補助金	1,320,000				
			・保育充実促進費補助金	13,965,650				
			15 県支出金		33 P			
	・保育充実促進費補助金	6,744,300						
	20 諸収入		45 P					
	・保育充実促進費他市町村負担金	174,400						
	○ 一般財源	8,366,950	—					
新規	私立保育所等 施設整備助成事業 304,196,000 (304,197千円) 総合戦略	19 負担金、補助及び交付金		91 P	増加している低年齢児の保育ニーズに対応するほか、児童の保育環境等の改善を図るため、町内の保育所等の施設整備にかかる費用の一部を助成するものである。 平成28年度は、駒寄幼稚園の園舎建替えについて助成した。平成29年度から認定こども園となり、0歳児からの受け入れを行なっていただくことにより、待機児童の解消等が期待できる。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉	
		・私立保育所等施設整備補助金	304,196,000					
		14 国庫支出金		25 P				
		・保育所等整備交付金(私立保育所等施設整備助成事業)	131,550,000					
		15 県支出金		33 P				
・認定こども園施設整備交付金(私立保育所等施設整備助成事業)	102,802,000							
○ 一般財源	69,844,000	—						

(款) 3 民生費

(項) 2 児童福祉費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
3 児童保育 費	新規	保育士等確保事業 3,250,000 (3,750千円) 総合戦略	19 負担金、補助及び交付金 ・ 保育士等確保事業補助金	3,250,000	91P	<p>児童数が増加する吉岡町では、年度途中の低年齢児の受入等により保育士の増員が必要となる場合が多いが、年度途中からでは保育士の確保が困難となっている。</p> <p>保育所等では年度当初から園児数の増を見込み、在園児数に対する保育士数の基準以上に保育士を加配することで、スムーズな園児の受入体制を整備しているが、当該基準を超えた保育士にかかる経費は国や町の公費負担がないため、当該経費の一部を補助することで、年度途中の園児の受入体制を充実させ、園児の受入れを促進する。</p> <p>町内5保育所の事業実施に対して支払いを行った。</p>	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉
			○ 一般財源	3,250,000	—			
5 学童保育 事業費	継続	学童クラブ 管理業務 15,466,784 (16,696千円)	13 委託料 ・ 学童クラブ指定管理料	15,466,784	93P	<p>吉岡町学童クラブ(5箇所)の管理を、社会福祉法人吉岡町社会福祉協議会を指定管理者として行わせることにより、効率的運営と住民福祉の向上を図る。指定管理期間は、平成26年度から平成28年度までの3年間。</p> <p>吉岡町社会福祉協議会の学童クラブ運営に対して支払いを行った。</p>	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉
			14 国庫支出金 ・ 子ども・子育て支援交付金	6,729,000	25P			
			15 県支出金 ・ 子ども・子育て支援交付金	6,729,000	33P			
			○ 一般財源	2,008,784	—			

(款) 3 民生費

(項) 2 児童福祉費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳 (款の区分ごと)						
5 学童保育 事業費	新規	学童クラブ 施設新築事業 81,699,642 (82,936千円) 総合戦略	11 需用費			93P	児童数の増加や、共働き、核家族化などにより、 年々増加する利用ニーズに対応するため、子育て世 帯支援として、駒寄小学校区に新設の学童クラブを 建設する。 駒寄小学校区内に用地を取得し、木造平屋建て定 員80名の駒寄第3学童クラブを新設した。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康 福祉
			・消耗品費 (事務用)	24,957					
			・消耗品費 (施設用)	102,373					
			13 委託料						
			・学童クラブ新設工事設計 業務委託	2,106,000					
			・学童クラブ新設工事監理 業務委託	1,662,120					
			・測量登記業務委託	365,256					
			15 工事請負費						
			・学童クラブ新設工事	56,268,000					
			17 公有財産購入費						
			・用地買収費	19,000,000					
			18 備品購入費						
			・施設用備品	2,170,936					
14 国庫支出金			25P						
・子ども・子育て支援交付 金	333,000								
・子ども・子育て支援整備 交付金 (学童クラブ施設 新築事業)	30,774,000								
・児童健全育成対策費補助 金	150,000								
15 県支出金			33P						
・子ども・子育て支援交付 金	333,000								
・子ども・子育て支援整備 交付金 (学童クラブ施設 新築事業)	7,692,000								
17 寄附金			39P						
・一般寄附金	20,000,000								
○ 一般財源			—						

(款) 4 衛生費

(項) 1 保健衛生費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳 (款の区分ごと)						
1 保健衛生 総務費	継続	住宅用太陽光 発電システム 設置補助金 5,955,000 (6,000千円)	19 負担金、補助及び交付金		97 P	住宅用太陽光発電システムを設置した町民(63件) に対し補助金を交付し、環境負荷の少ないクリーン エネルギーの普及促進を図った。 交付金額は25,000円/kwとし、上限は100,000円 (4kw)とする。	町民生活課 (生活環境室)	自然 環境	
			・住宅用太陽光発電システ ム設置整備事業補助金	5,955,000					
			○ 一般財源	5,955,000	—				
	継続	国民健康保険事業 特別会計繰出金 113,071,176 (213,346千円)	28 繰出金		97 P	国民健康保険事業特別会計への繰出金。 【実施内容】 繰出金対前年度:-16,782,070円(-12.9%) 法定外繰入れは行わなかった。	健康福祉課 (保険室)	健康 福祉	
・国民健康保険事業特別会 計繰出金			113,071,176						
14 国庫支出金				23 P					
・国保基盤安定補助金			17,917,806						
		15 県支出金		31 P					
		・国保基盤安定補助金	58,126,143						
		○ 一般財源	37,027,227	—					
3 母子衛生 費	継続	子育て相談 支援事業 734,000 (840千円) 総合戦略	8 報償費		97 P	子育て世代が安心して子どもを生き育てるための 支援策として、乳幼児健診の事後相談を充実すると ともに、母乳相談や子育て相談会のスタッフの充実 (栄養士・言語聴覚士・作業療法士を追加)により、 育児不安の解消、育児ストレスの軽減を図る。 また、第二子への保健師による訪問・電話相談を 実施し、早期の支援を行う。 ・運動発達の相談 来所者40人 ・ことばの相談 来所者15人 ・母乳相談に栄養士を追加で配置 ・保健師の第二子訪問91件、電話相談18件	健康福祉課 (健康づくり室)	健康 福祉	
			・健康相談謝礼	734,000					
			14 国庫支出金		25 P				
		・母子保健衛生費国庫補助 金	240,000						
		○ 一般財源	494,000	—					

(款) 4 衛生費

(項) 1 保健衛生費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
3 母子衛生 費	新規	こどものこころの 発達健診 230,000 (240千円) 総合戦略	8 報償費 ・こどものこころの発達健 診謝礼 230,000	97 P	-	自閉症やADHD・ASD等の広汎性発達障がい を早期に発見し、子どもの生活のしづらさと保護者 の負担や不安の軽減を図る総合戦略事業の一環とし て行うもの。 1歳6カ月児健診で発達の遅れが疑われる児童に 対し、心理士の詳しい検査・保護者へのアドバイスを 行う。 ・こころの発達健診 対象者19人、来所者11人	健康福祉課 (健康づくり室)	健康 福祉
	○ 一般財源 230,000							
	新規	年中児こころの 成長アンケート 236,835 (455千円) 総合戦略	8 報償費 ・年中児こころの成長アン ケート謝礼 108,000 11 需用費 ・印刷製本費(年中児ここ ろの成長アンケート) 19,440 12 役務費 ・郵便料(年中児こころの 成長アンケート) 109,395	97 P 99 P	-	自閉症やADHD・ASD等の広汎性発達障がい を早期に発見し、子どもの生活のしづらさと保護者 の負担や不安の軽減を図る総合戦略事業の一環とし て行うもの。 5歳に達する児童の保護者にアンケートを行うこ とでハイリスク児を把握し、発達支援教室や相談会 でフォローしていくとともに、二次障がい(不登校・ ひきこもり・精神疾患)の予防につなげていく。 ・アンケート送付者224人、回答157人	健康福祉課 (健康づくり室)	健康 福祉
○ 一般財源 236,835								
新規	発達支援教室 1,303,951 (1,505千円) 総合戦略	8 報償費 ・発達支援教室謝礼 706,725 11 需用費 ・消耗品費(発達支援教 室) 489,226 13 委託料 ・発達支援教室委託料 108,000	99 P	-	自閉症やADHD・ASD等の広汎性発達障がい を早期に発見し、子どもの生活のしづらさと保護者 の負担や不安の軽減を図る総合戦略事業の一環とし て行うもの。 年中児こころの成長アンケートで発達障がいの疑 いがあり、発達支援教室への参加が必要となった児 童及びその保護者に対し、医師・保育士・作業療法 士・心理士・保健師がアドバイスを行う。 ・教室該当者30人、参加者12人	健康福祉課 (健康づくり室)	健康 福祉	
○ 一般財源 1,303,951								

(款) 4 衛生費

(項) 1 保健衛生費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
3 母子衛生 費	継続	妊婦健康診査 支援事業 19,497,690 (21,228千円)	13 委託料 ・妊婦健康診査委託料 19,214,870 19 負担金、補助及び交付金 ・妊婦健康診査補助金 282,820 ○ 一般財源 19,497,690	99P —	全妊婦を対象に妊婦健康診査受診票を交付し、医療機関や助産所にて妊婦健康診査を実施することにより、母体や胎児の疾患の早期発見と健康管理を行うもの。 1人につき、14回分(98,730円)を公費負担する。 ・配布3,301枚、使用2,662枚	健康福祉課 (健康づくり室)	健康 福祉
	拡充	不妊・不育対策 支援事業 4,049,000 (4,980千円) 総合戦略	20 扶助費 ・特定不妊治療費 3,669,000 ・一般不妊治療費 357,000 ・不育症治療費 23,000 ○ 一般財源 4,049,000	99P —	総合戦略事業として、また、一億総活躍政策が掲げる「希望出生率1.8」の実現に向けた取組みとして、不妊・不育に悩む夫婦の支援を行うもの。 平成28年度からは、従来の特定不妊治療に加え、一般不妊治療、男性不妊治療、不育症治療についても助成を行った。 ・特定不妊治療…体外受精及び顕微授精 ・一般不妊治療…排卵誘発法、人工授精など ・不育症…反復して妊娠はするが、流産や早産、死産などで健常な生児に恵まれない状態 ・特定不妊治療助成件数(延件数)51件 ・一般不妊治療助成件数(延件数)12件 ・男性不妊治療助成件数(延件数)0件 ・不育症治療費助成件数(延件数)1件	健康福祉課 (健康づくり室)	健康 福祉

(款) 4 衛生費

(項) 1 保健衛生費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野					
			財源内訳 (款の区分ごと)										
4 健康増進 費	拡充	検診事業 36,576,129 (39,282千円)	7 賃金			99 P	町民を対象にがん検診（胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん・前立腺がん）のほか、肝炎ウイルス検診、歯周疾患検診等を実施し、疾病の早期発見・早期治療につなげる。 平成28年度からは、以前から住民要望が多かった胃カメラを導入し、バリウムと胃カメラのいずれかを選択できる体制を整えた。	健康福祉課 (健康づくり室)	健康 福祉				
			・臨時賃金	135,720									
			8 報償費							101 P			
			・健康診査謝礼	280,725									
			11 需用費								25 P		
			・消耗品費	37,843									
			・印刷製本費（事務用）	455,544									
			12 役務費									33 P	
			・検診関係通知郵便料	1,506,621									
			13 委託料										-
			・健康診査等委託料	31,342,220									
・事務委託料	2,785,320												
14 使用料及び賃借料			-										
・パソコン借上料	32,136												
14 国庫支出金				-									
・がん検診推進事業費補助金	11,000												
15 県支出金					-								
・健康増進事業費県補助金	1,102,950												
○ 一般財源	35,462,179												

(款) 4 衛生費

(項) 1 保健衛生費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
4 健康増進 費	継続	健康No. 1 プロジェクト事業 2,045,122 (2,221千円)	8 報償費		99 P	第5次総合計画のシンボルプロジェクトである「よしおか健康No.1プロジェクト」は保健・医療・福祉の各専門家と自治会の傘下である「よしおか健康推進協議会」などが連携し、健康づくりに関する事業の開催や、各地域独自の推進活動を行っている。平成28年度は、主に高齢者の「食生活の改善」、「運動機能の向上」、「引きこもり予防」などを目的とした講演会、運動教室、栄養講座、体力測定会、ウォーキング、ラジオ体操、パークゴルフなどの軽スポーツ交流会などが実施された。 (よしおか健康推進協議会活動 延969人) (自治会での自主活動 延17,472人)	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉
			・その他謝礼	792,400				
			11 需用費		101 P			
			・食糧費	37,772				
			12 役務費		-			
・体力測定会手数料	75,600							
19 負担金、補助及び交付金			1,139,350					
○ 一般財源			2,045,122					
5 環境衛生 費	継続	浄化槽設置整備 事業 3,510,000 (3,510千円)	19 負担金、補助及び交付金		101 P	公共下水道エリアと農業集落排水エリア以外の区域を対象に、単独浄化槽及び汲取り式から合併処理浄化槽への転換を推進する(エコ補助金)ほか、開発事業を除く一般住宅を対象に、合併処理浄化槽設置費の一部を補助する。 ・補助金交付実績:19基(内エコ補助金0基)	上下水道課 (下水道室)	自然環境
			・浄化槽設置整備事業費補助金	3,510,000				
			14 国庫支出金		25 P			
			・浄化槽設置整備事業費交付金	1,170,000				
○ 一般財源			2,340,000					

(款) 4 衛生費

(項) 2 清掃費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
2 塵芥処理 費	継続	資源ごみ回収 事業補助金 4,319,980 (4,992千円)	19 負担金、補助及び交付金		103 P	ごみの減量、資源の再利用及び地域コミュニティの育成を促進し、併せて廃棄物処理行政に対する町民意識の高揚を図ることを目的とし、資源ごみを回収した自治会等の営利を目的としない団体(45団体)に対して補助金を交付した。	町民生活課 (生活環境室)	自然環境
			・資源ごみ回収事業補助金	4,319,980				
			○ 一般財源					

(款) 5 労働費

(項) 1 労働諸費

(単位: 円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
1 労働諸費	継続	勤労者住宅資金 利子補給事業 11,059,134 (13,328 千円)	19 負担金、補助及び交付金		103 P	金融機関から資金を借り入れ、町内に専用住宅を 新築した給与所得者に対し、対象の借入額のうち300 万円以内、年利1.5%を上限(年額45,000円)として 3年間支給。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用
			・勤労者住宅資金利子補給	11,059,134				
	○ 一般財源	11,059,134	—					
	21 貸付金		103 P	町内在住の勤労者に対し、該当する目的に必要な 資金を100万円以内、期間5年間融資するもの。 このため、金融機関に資金を預託している。	産業建設課 (産業振興室)			
・勤労者生活資金融資預託 金		5,000,000						
20 諸収入		41 P	・勤労者生活資金融資預託 金			5,000,000		

(款) 6 農林水産業費

(項) 1 農業費

(単位: 円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
3 農業振興 費	新規	地域特産品生産 体制構築事業 9,990,000 (10,000 千円) 総合戦略	13 委託料		107 P	小倉地区の乾燥芋の増産化、販売の通年化、品質 の均一化、高付加価値化、農家所得の向上、流通経路 の拡大を目的とした、生産・加工・販売体制を構築す る事業。 平成28年度においては、市場(マーケット)、競 合や流通チャネル、既存の生産農家経営に関する調 査分析のほか、法人化への経営計画を策定した。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用
			・地域特産品生産体制構築 事業委託料	9,990,000				
	14 国庫支出金		27 P					
	・地方創生加速化交付金	9,990,000						
継続	青年就農給付金 給付事業 3,750,000 (3,750 千円)	19 負担金、補助及び交付金		109 P	経営リスクを負っている新規就農者の経営が安定 した軌道にのるまでの間、最長5年間で1人年額1 50万円を助成する。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用	
		・青年就農給付金	3,750,000					
15 県支出金		33 P						
・青年就農給付金	3,750,000							

(款) 6 農林水産業費

(項) 1 農業費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
3 農業振興費	拡充	道の駅 「よしおか温泉」 情報発信 機能強化事業 803,000 (1,000千円) 総合戦略	19 負担金、補助及び交付金 ・道の駅まつり交付金	803,000	109 P	町の東の玄関口として位置付けられている道の駅「よしおか温泉」を、広域観光案内及び地域情報の提供施設として更なる整備を推進するとともに、各種イベントを通して地域交流及び地域特産品のPR強化を図る事業。 道の駅で行われる年3回程度のイベントに対し助成を行い、各種団体による自主的・自立的な交流及び地域PR活動を行った。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用
			○ 一般財源	803,000	—			
4 畜産振興費	継続	畜産振興 (悪臭対策) 事業 270,000 (1,139千円)	13 委託料 ・臭気測定業務委託	270,000	109 P	臭気発生予防の観点から、畜舎の臭気測定を実施した。5つの畜舎について測定を行い、すべての畜舎の測定値結果は、規制基準値内の数値であった。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用
			○ 一般財源	270,000	—			
5 農地費	継続	小規模農村 整備事業 8,251,200 (8,360千円)	19 負担金、補助及び交付金 ・小規模農村整備事業負担金	8,251,200	109 P	北下北部地区において、延長654mの農業用水路の敷設替工事を群馬用土地改良区が事業主体で整備した。	産業建設課 (用地管理室)	産業 雇用
			○ 一般財源	8,251,200	—			
	継続	群馬用水施設 緊急改築事業 12,898,552 (12,899千円)	19 負担金、補助及び交付金 ・群馬用水施設緊急改築事業償還負担金	12,898,552	111 P	群馬用水施設緊急改築事業の償還(7年目/17年)を実施した。	産業建設課 (用地管理室)	産業 雇用
			○ 一般財源	12,898,552	—			

(款) 6 農林水産業費

(項) 1 農業費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
6 地籍調査 費	継続	地籍調査費 27,953,923 (28,427千円)	8 報償費		111 P	南下Ⅱ地区(南下午王頭川北旧県道西)は、一筆ごとの土地について、その所有者、地番、地目、境界の確認及び地積(面積)に関する測量を実施した。 南下Ⅰ地区(南下午王頭川南)は、地籍図案及び地籍簿案を作成し、地権者への閲覧を実施した。 陣場Ⅲ地区(下陣場旧県道西)は、成果の数値情報化を行い、登記が完了した。陣場地区の地籍調査はすべて終了した。	産業建設課 (用地管理室)	安全 便利
			・地籍調査推進委員	278,400				
			9 旅費					
			・普通旅費	26,520				
			11 需用費					
			・消耗品費(事務用)	68,694				
			・消耗品費(現場用)	38,581				
			・食糧費	13,320				
			・印刷製本費	8,000				
			・材料費(現場用)	97,048				
			12 役務費					
			・郵送料	118,384				
			・傷害保険料	11,496				
13 委託料								
・地籍調査業務委託料	19,429,200							
・復元測量業務委託料	6,696,000							
・システム保守業務委託料	388,800							
・登記事項調査委託料	64,800							
14 使用料及び賃借料								
・事務支援システム借上料	652,680							
19 負担金、補助及び交付金								
・国土調査推進協議会会費	62,000							
13 使用料及び手数料		23 P						
・地籍図等交付手数料	900							
15 県支出金		31 P						
・国土調査(地籍調査)事業負担金	14,752,500							
○ 一般財源	13,200,523	—						

(款) 6 農林水産業費

(項) 1 農業費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳 (款の区分ごと)						
7 渇水対策 施設維持管 理費	継続	渇水対策施設 管理業務 18,112,301 (21,000千円)	11 需用費		111 P	小倉揚水機場の電気設備等の維持管理や、揚水・ 管路施設の修繕を行った。	産業建設課 (用地管理室)	産業 雇用	
			・消耗品費 (施設用)	6,339					
			・電気料	10,058,994					
			13 委託料						
			・電気設備保守点検委託料	399,600					
			・電気工作物保安管理委託 料	221,616					
			15 工事請負費						
			・管路施設等修繕工事	958,752					
			18 備品購入費						113 P
			・小倉揚水機場揚水ポンプ 購入費	6,264,000					
25 積立金		37 P							
・渇水対策施設維持管理基 金	203,000								
16 財産収入		39 P							
・渇水対策施設維持管理基 金利子	202,301								
18 繰入金		41 P							
・渇水対策施設維持管理基 金繰入金	11,910,000								
20 諸収入									
・渇水対策施設管理費 (水 道分)	6,000,000								

(款) 6 農林水産業費

(項) 1 農業費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
7 渇水対策 施設維持管 理費	継続	渇水対策管路 施設移設工事 4,914,000 (4,915千円)	13 委託料		111 P	高崎渋川線バイパス事業にあたり支障となる渇水 対策管路移設の工事を行った。	産業建設課 (用地管理室)	産業 雇用
			・(主)高崎渋川線バイパ ス農業用水管路施設移転 設計業務委託	367,200				
			15 工事請負費		39 P			
			・高崎渋川線バイパス新設 工事(3期工区)に伴う 管路移設工事	4,546,800				
18 繰入金		45 P						
・渇水対策施設維持管理基 金繰入金	3,787,000							
			20 諸収入					
			・渇水対策施設管路移設補 償費	1,127,000				
8 農業集落 排水事業費	継続	農業集落排水事業 特別会計繰出金 107,255,963 (113,080千円)	28 繰出金		113 P	3ヶ所の処理施設の有効な稼働及び資源循環施設 (炭化施設)の通年稼働を目指し維持管理を実施す る。 整備地区内の意識向上を図り、農業集落排水整備 地区100%接続を推進する。 ・前年度比:-16,565千円(-13.4%)	上下水道課 (下水道室)	自然 環境
			・農業集落排水事業特別会 計繰出金	107,255,963				
			○ 一般財源	107,255,963	-			

(款) 7 商工費

(項) 1 商工費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳 (款の区分ごと)						
1 商工総務費	継続	住宅リフォーム 促進事業 1,591,000 (2,000千円)	19 負担金、補助及び交付金 ・住宅リフォーム促進事業 補助金	1,591,000	115 P	地域経済活性化対策の一環として、住宅関連産業を中心とした地域経済の活性化を目的とするもの。 町民が居住する住宅について、町内の施工業者を利用して住宅リフォーム工事を行った場合に、費用の一部を助成。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用	
			○ 一般財源	1,591,000	—				
2 観光費	継続	よしおか再発見 ウォーク事業 46,149 (133千円)	8 報償費 ・記念品	31,500	115 P	第5次吉岡町総合計画シンボルプロジェクトの「よしおか再発見プロジェクト」の一環で、吉岡町の魅力を掘り起こす事業。各種団体が町の魅力を紹介し、参加者がその魅力を外部へ情報発信していただくことが目的。 第7回は小倉産泰神社や森田本陣屋敷など明治地区の史跡を巡り、吉岡町の観光名所「小倉ぶどう郷」でのぶどう試食を参加賞として実施。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用	
			11 需用費 ・消耗品費 ・食糧費	3,969					
			12 役務費 ・保険料	7,680	117 P				
			20 諸収入 ・よしおか再発見ウォーク 参加者負担金	3,000	45 P				
			○ 一般財源	7,500	—				
2 観光費	継続	観光PR事業 724,934 (877千円)	8 報償費 ・記念品	20,860	115 P	第5次吉岡町総合計画シンボルプロジェクトの「よしおか再発見プロジェクト」の一環として実施。 ・町の観光PRのため首都圏におけるPRイベントに参加(伊香保温泉等広域圏における連携強化) ・観光パンフレット等の印刷 ・物産館・商工会などのイベント参加促進による特産品PR	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用	
			9 旅費 ・普通旅費	29,919					
			11 需用費 ・消耗品費 ・食糧費 ・観光パンフレット	141,499	117 P				
			12 役務費 ・広告掲載料 ・クリーニング代	14,600					
			13 委託料 ・草刈り業務委託	408,456	40,000				
			○ 一般財源	67,500	2,100				—
			○ 一般財源	724,934	—				

(款) 8 土木費

(項) 2 道路橋梁費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
3 道路新設 改良費	継続	町道「明小・ 北発地岡線」 道路改良事業 8,600,000 (25,298千円)	15 工事請負費		121 P	明治小学校の通学路である本路線を拡幅するとともに、歩道を整備する。 平成28年度は、道路工事(L=137m)を実施した。 ・全体延長:L=185m	産業建設課 (都市建設室)	安全 便利
			・町道改良工事(補助)	6,680,000				
			22 補償、補填及び賠償金		25 P			
			・町道改良工事外(繰越明 許)	1,920,000				
14 国庫支出金		—						
・社会資本整備総合交付金 (道路改良事業)	3,410,000							
○ 一般財源	5,190,000							
5 橋梁維持 費	継続	橋梁の長寿命化 16,285,800 (30,900千円)	13 委託料		121 P	町が管理する橋梁の長寿命化を図るため、定期点 検の結果に基づき、橋梁を補修する。 平成28年度は、補修工事(6橋)を実施した。	産業建設課 (都市建設室)	安全 便利
			・橋梁点検業務委託	9,028,800				
			15 工事請負費		123 P			
			・橋梁維持補修工事(補助)	7,257,000				
14 国庫支出金		25 P						
・社会資本整備総合交付金 (橋梁長寿命化修繕事 業)	8,717,500							
○ 一般財源	7,568,300							

(款) 8 土木費

(項) 4 都市計画費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野		
			財源内訳 (款の区分ごと)							
2 都市施設 費	継続	南下城山防災公園 整備事業 74,885,761 (112,720千円)	9 旅費			125 P	町民誰もが楽しめ、防災機能を有する大規模公園を桃井城址に整備する。 平成28年度は、町土地開発公社が先行取得した公園用地の一部A=5,168㎡の買い戻し、進入路の用地取得A=616㎡、公園の造成工事等を実施した。	産業建設課 (都市建設室)	安全 便利	
			・普通旅費(南下城山防災公園)	21,834						
			11 需用費							
			・消耗品費(南下城山防災公園)	232,264						
			13 委託料							
			・不動産鑑定評価時点修正業務(南下城山防災公園)	54,000						
			・不動産鑑定評価業務(南下城山防災公園)	161,276						
			・不動産鑑定評価業務(南下城山防災公園進入路)(繰越明許)	238,000						
			・除草業務(南下城山防災公園)	385,256						
			・梅林管理業務(南下城山防災公園)	450,000						
・用地買収地登記業務(南下城山防災公園)	370,440									
・土地開発公社委託事務費(南下城山防災公園)	565,625									
15 工事請負費					127 P					
・建設工事(南下城山防災公園)	40,400,000									
17 公有財産購入費										
・用地買収費(南下城山防災公園)	32,007,066									
14 国庫支出金					25 P					
・南下城山防災公園事業補助金	42,755,000									
21 町債					47 P					
・緊急防災・減災事業債(南下城山防災公園整備事業)	30,700,000									
○ 一般財源			1,430,761		—					

(款) 8 土木費

(項) 4 都市計画費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野		
			財源内訳 (款の区分ごと)							
2 都市施設 費	継続	駒寄スマート I C 大型車対応化事業 258,509,750 (344,208 千円)	9 旅費			125 P	地域産業の活性化や観光振興などのため、車長 6 m以下に限定されている駒寄スマート I Cの大型車 対応化事業を、前橋市、吉岡町及びネクスコ東日本 が連携し実施している。 平成 28 年度は、ネクスコとの委託、用地取得、文 化財調査、事業認定に係る環境影響調査などを実施 した。	産業建設課 (都市建設室)	安全 便利	
			・普通旅費(スマート I C)	14,290						
			11 需用費							
			・消耗品費(スマート I C)	136,848						
			13 委託料							
			・用地買収地登記業務(スマ ート I C)	545,266						
			・駒寄スマート I C大型車 対応化事業	55,934,232						
			・駒寄スマート I C大型車 対応化事業(繰越明許)	7,672,062						
			17 公有財産購入費							
			・用地買収費(スマート I C)	174,766,320	127 P					
			19 負担金、補助及び交付金							
			・駒寄スマート I C大型車 対応化事業負担金	8,487,332						
22 補償、補填及び賠償金										
・補償費(スマート I C)	10,953,400									
14 国庫支出金					25 P					
・社会資本整備総合交付金 (駒寄スマート I C)	132,909,670									
・社会資本整備総合交付金 (駒寄スマート I C) (繰越明許)	4,219,635	27 P								
20 諸収入					45 P					
・駒寄スマート I C大型化 事業に係る前橋市負担金	82,136,277									
・駒寄スマート I C大型化 事業に係る前橋市負担金 (繰越明許)	2,589,320									
○ 一般財源		36,654,848		—						

(款) 8 土木費

(項) 4 都市計画費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
3 下水道費	継続	公共下水道事業 特別会計繰出金 187,699,434 (193,894千円)	28 繰出金		127 P	快適で衛生的な住居環境の確保と河川の汚濁防止を進めるために、生活排水の処理体制を進めている。 平成28年度は公共下水道の区域拡大を目的に事業計画及び全体計画の見直しを行った結果、事業計画区域は362.0haから398.6haに、全体計画区域は365.0haから728.6haへの区域拡大に係る変更認可を受けた。 ・対前年比: +4,870千円 (+2.7%)	上下水道課 (下水道室)	自然 環境
			・公共下水道事業特別会計 繰出金	187,699,434				

(款) 9 消防費

(項) 1 消防費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳 (款の区分ごと)						
1 非常勤消防費	継続	消防団運営費 13,013,417 (13,259千円)	1 報酬		129 P	町民の生命、財産を守るために日々活動する消防団員に対し、報酬、各種出動委託料及び運営補助金を支払った。 ○ 消防団員総員: 109名 (平成28年4月1日現在) ○ 報酬(年額): 団長 295,000円、副団長 221,000円、分団長・ラッパ長 147,000円、副分団長 94,000円、部長 82,000円、班長 62,000円、機関員 47,000円、団員 39,000円、ラッパ手 41,000円	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利	
			・非常勤職員報酬	6,878,417					
			13 委託料						
			・消防団各事業委託料	5,535,000					
			19 負担金、補助及び交付金						
			・消防団運営補助金	600,000					
			○ 一般財源	13,013,417	—				

(款) 9 消防費

(項) 1 消防費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
4 災害対策 費	新規	自主防災組織 支援事業 1,771,657 (2,400千円) 総合戦略	18 備品購入費		131 P	総合戦略事業として、自主防災組織を支援すること で地域防災力の向上を図り、地域と一体となった まちづくりを推進していく。 ・ 自主防災組織の活動費及び資機材購入費の一 部を助成した。(陣場自治会) ・ 防災倉庫を設置した。(北下、陣場、大久保寺 上、溝祭、駒寄自治会) 5ヵ所	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利
			・ 防災倉庫	1,740,657				
			19 負担金、補助及び交付金		31,000			
			○ 一般財源	1,771,657				
5 無線放送 施設設置事 業費	新規	防災無線 デジタル化事業 2,052,000 (5,284千円) 総合戦略	13 委託料		131 P	現在の防災行政無線施設は平成11年に整備され たが、近年の大規模災害の発生を教訓として、防災 行政無線には、これまで以上に多様化・高度化する 通信ニーズへの対応が要求されている。 また、無線機器のスペック規格の改正により、 平成34年12月までデジタル化する必要があること や、渋川広域消防本部の無線放送施設のデジタル 化が完了していることを踏まえ、防災行政無線施設 のデジタル化を実施する。 平成28年度は、実施設計を行った。	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利
			・ 無線放送施設デジタル化 実施設計委託	2,052,000				
			14 国庫支出金		1,539,000			
			○ 一般財源	513,000	—			

(款) 10 教育費

(項) 2 小学校費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
2 教育振興 費	継続	学校給食事業 特別会計繰出金 14,523,600 (14,788千円) 総合戦略	28 繰出金		143 P	学校給食事業特別会計への繰出金。児童1人当 り10,450円(950円×11ヶ月)を補助した。 ・ 対前年度: +400千円(+2.8%)	教育委員会事務局 (学校教育室)	教育 文化
			・ 駒小学校給食事業特別会 計繰出金	8,407,500				
			・ 明小学校給食事業特別会 計繰出金	6,116,100	145 P			
			○ 一般財源	14,523,600	—			

(款) 10 教育費

(項) 2 小学校費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳 (款の区分ごと)						
3 学校建設 費	新規	明治小学校 校舎増築事業 357,568,175 (360,841千円)	13 委託料		145 P	(増築事業) 児童数の増に伴い教室数の不足が見込まれたため、プールの跡地に鉄筋コンクリート造2階建て5教室(理科室、多目的室、少人数教室、図工室、視聴覚室)延べ床面積840㎡の特別教室棟の増築工事を行った。	教育委員会事務局 (学校教育室)	教育文化	
			・明小校舎増築工事監理業務委託	5,901,000					
			・明小既存校舎改修工事監理業務委託	1,404,000					
			15 工事請負費		23 P				(改修事業) 南校舎増築に伴い、既存校舎4階の視聴覚室、図工準備室を普通教室、少人数教室へ用途改修し教室不足の解消を行った。
			・明小校舎増築工事	295,484,068					
			・明小既存校舎改修工事	50,846,400	27 P				
			18 備品購入費						39 P
			・明小増築校舎用備品	3,932,707					
14 国庫支出金		47 P							
・公立学校施設整備費国庫負担金(明治小学校校舎増築事業)	93,947,000								
・防衛施設周辺対策事業費補助金(明治小学校校舎増築事業)	31,064,000	47 P							
18 繰入金			47 P						
・財政調整基金繰入金	148,057,000								
21 町債		47 P							
・学校教育施設等整備事業債(明治小学校校舎増築事業)	84,500,000								
○ 一般財源		175	—						

(款) 10 教育費

(項) 2 小学校費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
3 学校建設 費	新規	駒寄小学校 トイレ改修事業 45,597,600 (45,900千円)	13 委託料		145 P	南校舎・中校舎合わせて49カ所の和便器を洋便器に交換したほか、今まで湿式の床であった南校舎については乾式の床へ改修するとともに、廊下とトイレの段差を解消しバリアフリー化を行った。 洋便器への交換と乾式床への改修によりトイレの衛生環境の向上が図れた。	教育委員会事務局 (学校教育室)	教育文化
			・駒小トイレ改修工事監理 業務委託(繰越明許)	1,728,000				
			15 工事請負費		27 P			
			・駒小トイレ改修工事(繰越明許)	43,869,600				
			14 国庫支出金		47 P			
・学校施設環境改善交付金 (駒寄小学校トイレ改修事業)(繰越明許)	14,573,000							
21 町債		-						
・学校教育施設等整備事業 債(駒寄小学校トイレ改修事業)(繰越明許)	30,400,000							
○ 一般財源			624,600					

(款) 10 教育費

(項) 3 中学校費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
2 教育振興 費	継続	学校給食事業 特別会計繰出金 7,117,400 (7,284千円) 総合戦略	28 繰出金		149 P	学校給食事業特別会計への繰出金。生徒1人当たり10,450円(950円×11ヶ月)を補助した。 ・対前年度:△117千円(△1.6%)	教育委員会事務局 (学校教育室)	教育文化
			・学校給食事業特別会計繰出金	7,117,400				
			○ 一般財源	7,117,400				

(款) 10 教育費

(項) 4 社会教育費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳 (款の区分ごと)						
1 社会教育 総務費	継続	吉岡町・大樹町 子ども交流事業 3,630,775 (3,639千円) 総合戦略	8 報償費			151 P	総務省より「平成28年度都市・農山漁村の地域 連携による子ども農山漁村交流推進モデル事業」の 委託を受け実施した。 北海道大樹町で自然体験・社会体験・宿泊体験を することにより、吉岡町と大樹町の青少年の交流の 輪を広げることができた。 また、地域社会で指導性を発揮できる青少年を育 成することができた。 ・ 参加者30名。	教育委員会事務局 (生涯学習室)	教育 文化
			・体験発表等記念品(吉岡町・大樹町子ども交流事業)	2,000					
			9 旅費						
			・普通旅費(吉岡町・大樹町子ども交流事業)	1,060,020					
			11 需用費						
			・消耗品費(吉岡町・大樹町子ども交流事業)	14,568					
			・食糧費(吉岡町・大樹町子ども交流事業)	142,347					
			・印刷製本費(吉岡町・大樹町子ども交流事業)	116,600					
			12 役務費						
			・保険料(吉岡町・大樹町子ども交流事業)	28,800					
13 委託料									
・業務委託料(吉岡町・大樹町子ども交流事業)	2,225,814								
14 使用料及び賃借料									
・レンタカー借上料(吉岡町・大樹町子ども交流事業)	29,500								
・携帯電話使用料(吉岡町・大樹町子ども交流事業)	11,126								
14 国庫支出金					29 P				
・子ども農山漁村交流プロジェクト交付金	2,373,275								
20 諸収入									
・吉岡町・大樹町子ども交流事業負担金	900,000				43 P				
○ 一般財源				357,500	—				

(款) 10 教育費

(項) 6 給食センター費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)	決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)				
1 給食センター費	新規	真空冷却機 更新事業 8,964,000 (9,990千円)	18 備品購入費 ・真空冷却機 8,964,000	165 P	給食で使用する野菜等は全て一度ボイルを行い、その後真空冷却機で瞬間的に温度を下げ、その温度をなるべく維持したまま学校に提供することが望ましいとされているため、真空冷却機を更新して作業の効率化を図るとともに、より安全・安心な給食を提供した。	教育委員会事務局 (給食センター)	教育文化
			○ 一般財源 8,964,000	—			

7. 吉岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成28年度主要事業一覧表（再掲）

基本目標1：「地域力」を活かした、誰もが安心して暮らせるまち

（1）豊かな住環境の整備と安全・便利なまちづくり

②公共交通・道路網の充実

（単位：円）

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳（節の区分ごと）		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳（款の区分ごと）						
公共交通 利便性 向上事業	新規	グループタクシー 実証実験 150,694 (309千円)	11 需用費		102,600	61P	交通不便地区・空白地区の解消に向けた取組みとして、交通弱者がタクシーを利用した際に支払う運賃等の一部を助成することにより外出機会の創出を図り、もって日常生活における利便性の向上に資することを目的に、町内全域を対象とした実証実験を9ヶ月間実施した。 申請者数は27人（実20人）、利用者数は19人（実13人）、また利用回数は94回で運行回数とすると70回となり、内訳は単独乗車46回、相乗乗車24回（相乗率34.3%）の結果であった。 同事業を平成29年度も実証実験として実施中である。	総務政策課 (政策室)	安全 便利
			・印刷製本費（交通対策事業用）						
			12 役務費		1,094	63P			
			・郵便料（交通対策事業用）						
13 委託料		47,000	63P						
・グループタクシー実証実験業務委託料									
			○ 一般財源		150,694	—			

③安心・安全なまちづくり

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
地域自主防災 組織の充実	新規	自主防災組織 支援事業 1,771,657 (2,400千円)	18 備品購入費		131P	総合戦略事業として、自主防災組織を支援することで地域防災力の向上を図り、地域と一体となったまちづくりを推進していく。 ・ 自主防災組織の活動費及び資機材購入費の一部を助成した。(陣場自治会) ・ 防災倉庫を設置した。(北下、陣場、大久保寺上、溝祭、駒寄自治会) 5ヵ所	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利
			・ 防災倉庫	1,740,657				
			19 負担金、補助及び交付金		—			
			・ 自主防災組織活動補助金	31,000				
			○ 一般財源	1,771,657				
防災無線 整備事業	新規	防災無線 デジタル化事業 2,052,000 (5,284千円)	13 委託料		131P	現在の防災行政無線施設は平成11年に整備されたが、近年の大規模災害の発生を教訓として、防災行政無線には、これまで以上に多様化・高度化する通信ニーズへの対応が要求されている。 また、無線機器のサプライズ規格の改正により、平成34年12月までデジタル化する必要があることや、渋川広域消防本部の無線放送施設のデジタル化が完了していることを踏まえ、防災行政無線施設のデジタル化を実施する。 平成28年度は、実施設計を行った。	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利
			・ 無線放送施設デジタル化実施設計委託	2,052,000				
			14 国庫支出金		27P			
			・ 民生安定施設設置助成補助金(防災無線デジタル化事業)	1,539,000				
			○ 一般財源	513,000	—			
放課後児童 安全対策事業 (見守り パトロール)	継続	放課後児童 見守りパトロール 2,204,183 (2,246千円)	11 需用費		63P	子育て世代の女性が安心して育児に取り組める環境の整備を目的として、放課後児童見守りパトロールを実施した。 見守りパトロールの内容は、公益社団法人吉岡町シルバー人材センターに委託し、町の青色回転灯装備車両を使用し、児童の下校時間に合わせて午後2時30分から午後7時30分のパトロールを240日実施した。	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利
			・ 防犯用事務・事業用品	21,783				
			13 委託料		65P			
			・ 放課後児童見守りパトロール委託料	2,182,400				
			○ 一般財源	2,204,183	—			

③安心・安全なまちづくり

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
放課後児童 安全対策事業 (防犯カメラ)	継続	防犯カメラ 設置事業 3,010,656 (3,273 千円)	11 需用費		65P	住民の安心・安全、児童・生徒の通学路の安全確保、町有施設の安全管理を目的として、防犯カメラを8台設置した。	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利
			・防犯カメラ電気料	11,144				
			15 工事請負費		-			
・防犯カメラ設置工事	2,999,512							
			○ 一般財源	3,010,656				

基本目標2：一人ひとりが輝き、生き生きと暮らせるまち

(1) 子育て世帯への支援の充実

①子育てに関する不安や悩みの軽減

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
産前・産後 サポート事業	継続	産前・産後 サポート事業 36,936 (71 千円)	13 委託料		89P	育児・家事等の支援を必要とする産前・産後期の母親の精神的・肉体的負担を軽減し、安心して育児や日常生活が営めるよう支援する。 1回につき1,700円(2時間)で、3回目までを町が負担し、4回目以降は自己負担となる。ただし、多胎妊娠の場合は6回目までを町が負担する。 渋川広域圏で共同実施しており、吉岡町住民の利用分について渋川市に委託料を支出した。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康 福祉
			・産前・産後サポート事業 広域実施委託料	36,936				
			○ 一般財源	36,936	-			

①子育てに関する不安や悩みの軽減

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
発達障がい の早期発見 のための 各種健診 の充実	新規	こどものこころの 発達健診 230,000 (240千円)	8 報償費 ・こどものこころの発達健 診謝礼	230,000	97 P	自閉症やADHD・ASD等の広汎性発達障がい を早期に発見し、子どもの生活のしづらさと保護者 の負担や不安の軽減を図る総合戦略事業の一環とし て行うもの。 1歳6カ月児健診で発達の遅れが疑われる児童に 対し、心理士の詳しい検査・保護者へのアドバイスを 行う。 ・こころの発達健診 対象者19人、来所者11人	健康福祉課 (健康づくり室)	健康 福祉
			○ 一般財源	230,000	—			
	新規	年中児こころの 成長アンケート 236,835 (455千円)	8 報償費 ・年中児こころの成長アン ケート謝礼	108,000	97 P	自閉症やADHD・ASD等の広汎性発達障がい を早期に発見し、子どもの生活のしづらさと保護者 の負担や不安の軽減を図る総合戦略事業の一環とし て行うもの。 5歳に達する児童の保護者にアンケートを行うこと でハイリスク児を把握し、発達支援教室や相談会 でフォローしていくとともに、二次障がい(不登校・ ひきこもり・精神疾患)の予防につなげていく。 ・アンケート送付者224人、回答157人	健康福祉課 (健康づくり室)	健康 福祉
			11 需用費 ・印刷製本費(年中児こ ころの成長アンケート)	19,440	99 P			
			12 役務費 ・郵便料(年中児こころの 成長アンケート)	109,395	—			
			○ 一般財源	236,835	—			
	新規	発達支援教室 1,303,951 (1,505千円)	8 報償費 ・発達支援教室謝礼	706,725	99 P	自閉症やADHD・ASD等の広汎性発達障がい を早期に発見し、子どもの生活のしづらさと保護者 の負担や不安の軽減を図る総合戦略事業の一環とし て行うもの。 年中児こころの成長アンケートで発達障がいの疑 いがあり、発達支援教室への参加が必要となった児 童及びその保護者に対し、医師・保育士・作業療法 士・心理士・保健師がアドバイスを行う。 ・教室該当者30人、参加者12人	健康福祉課 (健康づくり室)	健康 福祉
			11 需用費 ・消耗品費(発達支援教 室)	489,226				
			13 委託料 ・発達支援教室委託料	108,000				
○ 一般財源			1,303,951					

①子育てに関する不安や悩みの軽減

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
育児相談の 充実事業	継続	子育て相談 支援事業 734,000 (840千円)	8 報償費		97 P	子育て世代が安心して子どもを生み育てるための 支援策として、乳幼児健診の事後相談を充実すると ともに、母乳相談や子育て相談会のスタッフの充実 (栄養士・言語聴覚士・作業療法士を追加)により、 育児不安の解消、育児ストレスの軽減を図る。 また、第二子への保健師による訪問・電話相談を 実施し、早期の支援を行う。 ・運動発達の相談 来所者 40人 ・ことばの相談 来所者 15人 ・母乳相談に栄養士を追加で配置 ・保健師の第二子訪問 91件、電話相談 18件	健康福祉課 (健康づくり室)	健康 福祉
			・健康相談謝礼	734,000				
			14 国庫支出金		25 P			
・母子保健衛生費国庫補助 金	240,000							
			○ 一般財源	494,000	—			
赤ちゃんの駅 (情報マップ) の活用支援	新規	赤ちゃんの駅 (情報マップ) 78,030 (100千円)	11 需用費		89 P	渋川広域圏で実施する地方創生事業であり、外出 中におむつ替えや授乳などで誰でも自由に立ち寄る ことができる公共施設や民間施設を「赤ちゃんの駅」 として指定する。 平成28年度は、新たに5か所の民間施設が赤ち ゃんの駅として指定され、情報マップに登載し増刷 を行った。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康 福祉
			・印刷製本費	78,030				
			○ 一般財源	78,030	—			

②子育ての経済的負担の軽減

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
不妊・不育 対策支援	拡充	不妊・不育対策 支援事業 4,049,000 (4,980千円)	20 扶助費		99P	総合戦略事業として、また、一億総活躍政策が掲げる「希望出生率1.8」の実現に向けた取組みとして、不妊・不育に悩む夫婦の支援を行うもの。 平成28年度からは、従来の特定不妊治療に加え、一般不妊治療、男性不妊治療、不育症治療についても助成を行った。 ・ 特定不妊治療…体外受精及び顕微授精 ・ 一般不妊治療…排卵誘発法、人工授精など ・ 不育症…反復して妊娠はするが、流産や早産、死産などで健常な生児に恵まれない状態 ・ 特定不妊治療助成件数 (延件数) 51件 ・ 一般不妊治療助成件数 (延件数) 12件 ・ 男性不妊治療助成件数 (延件数) 0件 ・ 不育症治療費助成件数 (延件数) 1件	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉
			・ 特定不妊治療費 3,669,000					
学校給食費の 保護者負担額 の軽減事業	継続	学校給食事業 特別会計繰出金 21,641,000 (22,072千円)	28 繰出金		143P	学校給食事業特別会計への繰出金。児童1人当たり10,450円(950円×11ヶ月)を補助した。 ・ 対前年度：+283千円(+1.3%)	教育委員会事務局 (学校教育室)	教育文化
			・ 駒小学校給食事業特別会計繰出金 8,407,500		145P			
			・ 明小学校給食事業特別会計繰出金 6,116,100		149P			
			・ 学校給食事業特別会計繰出金 7,117,400		—			
○ 一般財源 21,641,000								
高校生の 通学支援	新規	高校生等 通学支援事業 78,000 (150千円)	19 負担金、補助及び交付金		63P	公共交通の利用促進と高校生等の保護者の経済的負担軽減を図るため、高校生等が利用する通学定期券購入費の一部を助成した。 申請者：27人(実10人)	総務政策課 (政策室)	安全便利
			・ 高校生等通学支援事業補助金 78,000		—			
○ 一般財源 78,000								

(2)「子どもを育てる」、「子どもが育つ」環境づくり

①就学前の児童と保護者の交流・成長支援

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
保育士 確保事業	新規	保育士等確保事業 3,250,000 (3,750千円)	19 負担金、補助及び交付金 ・保育士等確保事業補助金 3,250,000	91P	児童数が増加する吉岡町では、年度途中の低年齢児の受入等により保育士の増員が必要となる場合が多いが、年度途中からでは保育士の確保が困難となっている。 保育所等では年度当初から園児数の増を見込み、在園児数に対する保育士数の基準以上に保育士を加配することで、スムーズな園児の受入体制を整備しているが、当該基準を超えた保育士にかかる経費は国や町の公費負担がないため、当該経費の一部を補助することで、年度途中の園児の受入体制を充実させ、園児の受入れを促進する。 町内5保育所の事業実施に対して支払いを行った。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉	
			○ 一般財源 3,250,000	—				
認定こども園 の設置支援	新規	私立保育所等 施設整備助成事業 304,196,000 (304,197千円)	19 負担金、補助及び交付金 ・私立保育所等施設整備補助金 304,196,000	91P	増加している低年齢児の保育ニーズに対応するほか、児童の保育環境等の改善を図るため、町内の保育所等の施設整備にかかる費用の一部を助成するものである。 平成28年度は、駒寄幼稚園の園舎建替えについて助成した。平成29年度から認定こども園となり、0歳児からの受入れを行なっていただくことにより、待機児童の解消等が期待できる。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉	
			14 国庫支出金 ・保育所等整備交付金(私立保育所等施設整備助成事業) 131,550,000	25P				
			15 県支出金 ・認定こども園施設整備交付金(私立保育所等施設整備助成事業) 102,802,000	33P				
			○ 一般財源 69,844,000	—				

②児童・生徒の教育環境等の充実

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
学童クラブの 充実・整備	新規	学童クラブ 施設新築事業 81,699,642 (82,936千円)	11 需用費		93P	児童数の増加や、共働き、核家族化などにより、 年々増加する利用ニーズに対応するため、子育て世 帯支援として、駒寄小学校区に新設の学童クラブを 建設する。 駒寄小学校区内に用地を取得し、木造平屋建て定 員80名の駒寄第3学童クラブを新設した。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康 福祉
			・消耗品費 (事務用)	24,957				
			・消耗品費 (施設用)	102,373				
			13 委託料					
			・学童クラブ新設工事設計 業務委託	2,106,000				
			・学童クラブ新設工事監理 業務委託	1,662,120				
			・測量登記業務委託	365,256				
			15 工事請負費					
			・学童クラブ新設工事	56,268,000				
			17 公有財産購入費					
			・用地買収費	19,000,000				
			18 備品購入費					
			・施設用備品	2,170,936				
			14 国庫支出金					
・子ども・子育て支援交付 金	333,000							
・子ども・子育て支援整備 交付金 (学童クラブ施設 新築事業)	30,774,000							
・児童健全育成対策費補助 金	150,000	33P						
15 県支出金								
・子ども・子育て支援交付 金	333,000							
・子ども・子育て支援整備 交付金 (学童クラブ施設 新築事業)	7,692,000							
17 寄附金		39P						
・一般寄附金	20,000,000							
○ 一般財源	22,417,642	—						

③子どもの可能性を広げるための学習支援

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
吉岡町 大樹町 子ども 交流事業	継続	吉岡町・大樹町 子ども交流事業 3,630,775 (3,639千円)	8 報償費 ・体験発表等記念品 (吉岡町・大樹町子ども交流事業)	2,000	151 P	総務省より「平成28年度都市・農山漁村の地域連携による子ども農山漁村交流推進モデル事業」の委託を受け実施した。 北海道大樹町で自然体験・社会体験・宿泊体験をすることにより、吉岡町と大樹町の青少年の交流の輪を広げることができた。 また、地域社会で指導性を発揮できる青少年を育成することができた。 ・参加者30名。	教育委員会事務局 (生涯学習室)	教育文化
			9 旅費 ・普通旅費 (吉岡町・大樹町子ども交流事業)	1,060,020				
			11 需用費 ・消耗品費 (吉岡町・大樹町子ども交流事業)	14,568				
			・食糧費 (吉岡町・大樹町子ども交流事業)	142,347				
			・印刷製本費 (吉岡町・大樹町子ども交流事業)	116,600				
			12 役務費 ・保険料 (吉岡町・大樹町子ども交流事業)	28,800				
			13 委託料 ・業務委託料 (吉岡町・大樹町子ども交流事業)	2,225,814				
			14 使用料及び賃借料 ・レンタカー借上料 (吉岡町・大樹町子ども交流事業)	29,500				
			・携帯電話使用料 (吉岡町・大樹町子ども交流事業)	11,126				
			14 国庫支出金 ・子ども農山漁村交流プロジェクト交付金	2,373,275				
20 諸収入 ・吉岡町・大樹町子ども交流事業負担金	900,000	43 P						
○ 一般財源	357,500	—						

基本目標3：地域資源を活かした産業や交流を応援するまち

(1) 地域を誇りに思い、魅力を発信するまちづくり

②「吉岡の魅力」の情報発信

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
道の駅 「よしおか温泉」 情報発信 強化事業	拡充	道の駅 「よしおか温泉」 情報発信 機能強化事業 803,000 (1,000千円)	19 負担金、補助及び交付金		109P	町の東の玄関口として位置付けられている道の駅「よしおか温泉」を、広域観光案内及び地域情報の提供施設として更なる整備を推進するとともに、各種イベントを通して地域交流及び地域特産品のPR強化を図る事業。 道の駅で行われる年3回程度のイベントに対し助成を行い、各種団体による自主的・自立的な交流及び地域PR活動を行った。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用
			・道の駅まつり交付金	803,000	—			
			○ 一般財源	803,000	—			
まちの イメージアップと 観光・行政情報 発信の充実強化	新規	ホームページ 改修事業 3,996,000 (3,996千円)	13 委託料		63P	観光・行政情報発信の充実強化を図るため、ホームページのリニューアルを行った。 自動翻訳サービス(英、中<簡体字・繁体字>、韓)、音声読み上げ機能、背景色の変更機能を導入した。	総務政策課 (庶務行政室)	町民 行政
			・ホームページ改修委託料	3,996,000	—			
			○ 一般財源	3,996,000	—			

②「吉岡の魅力」の情報発信

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
まちの イメージアップと 観光・行政情報 発信の充実強化	新規	イメージアップ 事業 124,287 (155千円)	8 報償費		61 P	吉岡町の魅力ある様々な資源を発掘し、町の良さを再発見することで、郷土愛の醸成を図りつつ、認知度及びイメージの向上を目指すとともに、受賞作品を町が情報発信する各種媒体において活用することを目的として、町の良さを表現した写真を募集し、優秀な作品については下記の賞を授与した。 各賞：最優秀賞（1点）・優秀賞（2点）・入賞（5点）・佳作（4点）・審査員特別賞（3点） 応募人数：17人 応募点数：30点 また、吉岡町のイメージアップを図るため、各種イベント等で配布する目的で、ご当地ぐんまちゃんのイラストが印刷されているトートバックを作成した。	総務政策課 (政策室)	町民 行政
			・フォトコンテスト審査委員会委員謝礼	13,200				
			・イメージアップ事業記念品(企画費)	106,496				
			11 需用費		31 P			
			・消耗品費(企画費)	3,619				
			・食糧費(企画費)	972				
			15 県支出金		-			
			・地域力向上事業補助金	43,000				
			○ 一般財源	81,287				

77/77

(4) 町の魅力や企業の価値を高める活動に対する支援

①町の魅力や企業の価値を高める活動に対する支援

(単位：円)

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
6次産業化に 対する支援	新規	地域特産品生産 体制構築事業 9,990,000 (10,000千円)	13 委託料		107 P	小倉地区の乾燥芋の増産化、販売の通年化、品質の均一化、高付加価値化、農家所得の向上、流通経路の拡大を目的とした、生産・加工・販売体制を構築する事業。 平成28年度においては、市場（マーケット）、競合や流通チャンネル、既存の生産農家経営に関する調査分析のほか、法人化への経営計画を策定した。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用
			・地域特産品生産体制構築事業委託料	9,990,000				
			14 国庫支出金		27 P			
			・地方創生加速化交付金	9,990,000				